3-246-766-**02**(1)

学習機能付
多機能リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-AV3000U

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**

- **故障したら使わない**
  動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

- **万一、異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

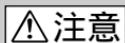
この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

下記の注意を守らないと、火災・発熱・発火・感電により やけどゃ大けがの原因となります。

幼児やペットなどに誤って触らせない

このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。
使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能（75ページ参照）を使って操作ボタンをロックしてください。

注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、リモコンの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因になることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。

主な特長

学習機能付多機能リモートコマンダーRM-AV3000Uは、複数のリモコンによるAV機器操作の煩わしさを解消し、１台でお手持ちのAV機器の集中コントロールを可能にしたリモコンです。本機は、以下のような特長を備えています。

ドットマトリクスによる258個のラベルキー表示の変更可能

ドットマトリクスによる液晶表示により、機器選択ラベルキー、各マクロに使われるラベルキーなど、最大258個のラベルキー表示の変更ができます。それぞれのラベルキーに最大8文字まで（アルファベット、数字、記号、カタカナ）入力して、お好みの名称を表示させることができます。

18機器の集中コントロール

最大18機器（テレビ、ビデオ、DVDプレーヤー、CDプレーヤー、アンプなど）のコントロールができます。
6個の機器選択ボタンで頻繁に使う機器を選び、その他の機器は12個のラベルキー（OTHERボタンで表示）で選ぶことができます。
蓄光タイプの機器選択ボタンは暗い場所で光るので、容易に操作ができます。

それぞれ最大32個の連続した操作ステップを持つ最大45個の実行プログラム（マクロ）の設定が可能

ボタン／キーを押すだけで、最大32個の連続した操作ステップを持つ最大45個のマクロ（15個のシステムマクロ、18個のコンポーネントマクロ、12個のタイマーマクロ）を実行することができます。マクロの実行速度は変更することができます。工場出荷時には、ソニー製品の電源オン／オフのプログラムが設定されています。

時計表示・タイマー機能

最大12個のタイマーマクロを使って、機器の電源オン／オフなどの操作をタイマー設定することができます。（65ページ）

ソニー製AV機器の集中コントロールがこの1台で可能

工場出荷時には、ソニー製品のAV機器のリモコン信号が設定されていますので、そのままソニー製AV機器のコントロールセンターとしてお使いいただけます。

ソニー製品以外のリモコン信号もあらかじめ記憶ずみ

ソニー製品を含め、主なメーカーのAV機器のリモコン信号を記憶させてあります。機器の種類とメーカー番号を選ぶだけで、お手持ちの機器のリモコン操作が簡単に行えます。（14ページ）

別のリモコンの信号が記憶できる学習機能

お手持ちの機器に付属のリモコンの信号が、本機にあらかじめ記憶されていなかった場合は、本機に学習させて記憶させることができます。（学習させるときは、お手持ちの機器に付属のリモコンを使います。）（22ページ）
また、AV機器だけでなく、エアコンや照明器具などに付属のリモコンの信号を学習させることもできます（一部の機器を除く）。（53ページ）

簡単に選局することができるチャンネルマクロ機能

チャンネル番号をチャンネルマクロキー（ラベルキー）に記憶させることができます（最大5桁）。次からは、チャンネルマクロキーを押して簡単に選局することができます。

バックライト付きで操作しやすい液晶画面の操作キー表示

液晶画面の操作キー表示は、選択した機器に応じて変わります。バックライト付きなので暗い場所でも容易に操作ができます。

この取扱説明書の表記について

地上波：NHKや民法各局のテレビ放送（VHF/UHF）のことです。東京タワーなど地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

BSデジタル：2000年12月に本放送が開始されたBSデジタル放送のことです。

アナログBS：従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送と、独立音声ラジオ放送のことです。

デジタルCS：2001年9月現在放送されているスカイパーフェクTV*!*のことです。
110度CS放送ではありません。

マクロ：連続した操作手順をひとつのボタン／ラベルキーに記憶させ、ワンタッチで一連の操作を行うことができるシステムプログラムのことです。

目次

準備

基本的な使いかた

進んだ使いかた

その他の機能

その他

各部のなまえ

1 **時計表示キー**（11、21ページ）
時計、（送信マーク）、（電池マーク）および（タイマーマーク）を表示します。
テレビ操作時は、地上波放送選局とBS放送選局の数字キーを切り換えます。

2 **モード表示キー**（11、15、19ページ）
選択したモードを表示します。モード表示キーの機能は選択したモードによって変わります。

3 **液晶操作キー表示画面**
選択した機器を操作するキー、および本機の設定をするためのキーを表示します。

ご注意
ピンやボールペンなど、先のとがったもので操作キーを押さないでください。

4 **ラベルキー**（13、15、34、65ページ）
選択したモードに関連したラベル（最大8文字）を表示します。4個のラベルキーはOTHER、MORE、またはTIMERボタンを押すごとに切り換わります（3段階切り換え）。

5 **機器選択ボタン**（19ページ）
操作する機器を選択します。

6 OTHER（アザー）**ボタン**（15ページ）
押すごとにラベルキーに表示される機器の名称が切り換わります（3段階切り換え）。

7 TIMER（タイマー）**ボタン**（65ページ）
タイマープログラムを設定するときや、設定したタイマープログラムを実行するかどうか決めるときに使います。

8 LIGHT（ライト）**ボタン**（80ページ）
液晶画面のバックライトを点灯させるときに押します。バックライトを消すにはもう一度押します。

9 COMMANDER（コマンダー） OFF（オフ）**ボタン**
本機の画面表示を全て消すときに押します。

10 CHANNEL（チャンネル）＋/－**ボタン**（92ページ）
選局するときに押します。

11 RECALL（リコール）**ボタン**（92ページ）

12 VOLUME（ボリューム）＋/－**ボタン***（22ページ）
音量を調節します。

13 MUTING（ミューティング） **ボタン***（22ページ）
機器の消音をするときに押します。もう一度押すと、消音する前の状態に戻ります。

⑭ EXIT(エグジット)ボタン(92ページ)
設定メニューから抜けるときに押します。

⑮ MENU(メニュー)ボタン(92ページ)
メニュー機能を持った機器のメニューを表示するときに押します。

⑯ OK(オーケー)ボタン・カーソル操作ボタン(11、92ページ)

⑰ SYSTEM(システム) CONTROL(コントロール)ボタン(33ページ)
それぞれのSYSTEM CONTROLボタン(1〜3)に最大32個の連続した操作ステップを持つプログラムを登録することができます。いったん登録しておけば、SYSTEM CONTROLボタンを押すだけで、操作プログラムを実行させることができます。

⑱ MORE(モア)ボタン(34ページ)
押すごとにラベルキーに表示されるシステム番号が切り換わります(3段階切り換え)。

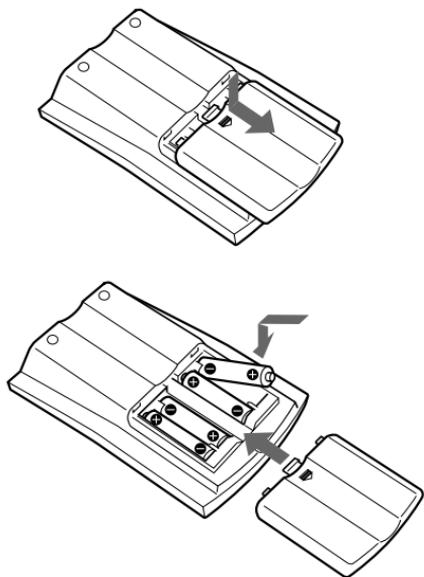
VOLUME +/−(音量)ボタンとMUTING(消音)ボタンについてのご注意
映像機器を選んでいるときは、テレビの音量を調節および消音します。オーディオ機器を選んでいるときは、アンプの音量を調節および消音します。音量調節する機器の設定は変えることができます(31ページ)。

操作ボタン/キーの機能についてのご注意
本機の設定や操作する機器によって、ボタン/キーの機能が異なります。
本機の工場出荷時のそれぞれの機器に対する操作ボタン/キーの機能については、「記憶されている機能一覧表」(92ページ)をご覧ください。

本機の液晶画面表示のオン/オフについて
液晶画面を表示させるには、COMMANDER OFFボタン以外のいずれかのボタンを押します。画面表示を消すには、COMMANDER OFFボタンを押します。工場出荷時には、本機を10分間操作しないと、自動的に画面表示が消えるように設定されています。この時間は変更することができます(77ページ)。

電池を入れる

付属の乾電池（単3形マンガン乾電池4本）を入れます。

付属のマンガン電池はお試し用です。ご使用になる際には、アルカリ乾電池をおすすめします。

電池の交換時期

リモコンの操作およびバックライト用電池（4本）

普通の使いかたをした場合、アルカリ乾電池は約5か月もちます。電池が消耗すると、液晶画面にが表示され、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。画面のキー表示やバックライトが暗くなったら、4本とも新しいアルカリ乾電池と交換してください。

電池を入れたら、時計を合わせてください（11ページ）。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

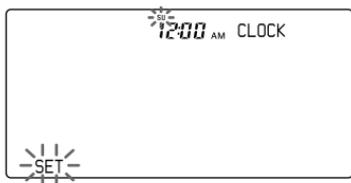
⚠注意

- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

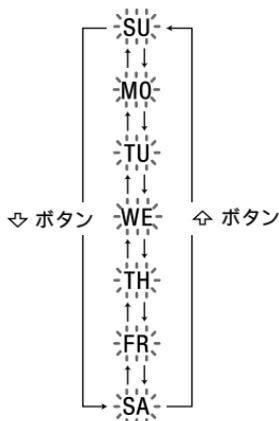
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

時計を合わせる

電池を入れた後はじめて時計を合わせる

電池を入れると、本機は時計設定モードになり、モード表示キーに「CLOCK」が表示されます。「SET」と「SU」が点滅し、「12：00 AM」が点灯します。次の手順に従って時計を合わせてください。

1 ⇧または⇩ボタンを押して、曜日を選ぶ。

選んだ曜日が点滅します。

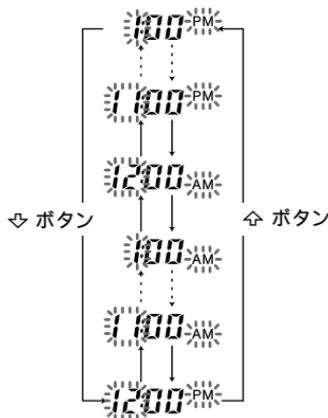
SU ： 日曜日
MO ： 月曜日
TU ： 火曜日
WE ： 水曜日
TH ： 木曜日
FR ： 金曜日
SA ： 土曜日

⇨ボタンを押して曜日を決定します。

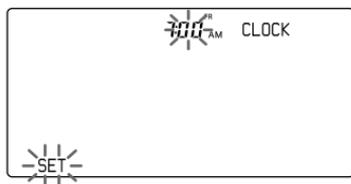
「12」、「AM」および「SET」が点滅します。

ご注意

⇦ボタンを押すと、曜日が決定され、手順3へ進みます。

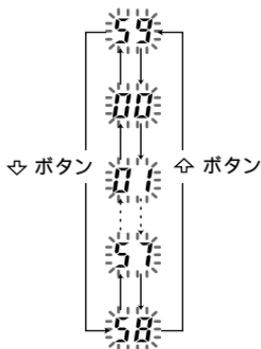
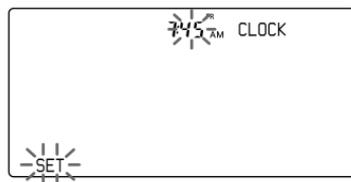
2 ⇧または⇩ボタンを押して、「時」およびAM／PMを選ぶ。

選んだ「時」およびAM／PMが点滅します。

⇨ボタンを押して「時」およびAM／PMを決定します。

次のページへつづく

「00」（分）と「SET」が点滅します。

ご注意

⇦ボタンを押すと、「時」およびAM／PMが決定され、手順1へ戻ります。

3 ⇧または⇩ボタンを押して、「分」を選ぶ。

選んだ「分」と「SET」が点滅します。

ご注意

- ⇨ボタンを押すと、「分」が決定され、手順1へ戻ります。
- ⇦ボタンを押すと、「分」が決定され、手順2へ戻ります。
- 時計合わせを終了する場合は、手順4へ進みます。

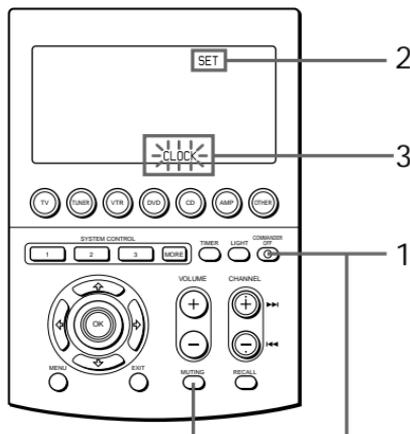
4 SETキーを押す。

時計は0秒からスタートします。

ご注意

1〜3のいずれかの手順でSETキーを押すと、時刻が設定され、時計は0秒からスタートします。

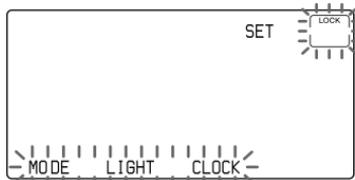
時計を調整する

いったん時計を合わせてから調整するには、次の手順に従って操作してください。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

押しながら

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「CLOCK」を表示させる。

2**回押す**

SETキーを押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

3 CLOCKキーを押す。

本機は時計設定モードになり、モード表示キーに「CLOCK」が表示されます。

4 11〜12ページの手順1〜4に従って、時計を合わせます。

ご注意

手順2または3でSETキーを押すと、時刻が設定され、時計は0秒からスタートします。

ソニー以外のAV機器の操作をする

—メーカー番号の設定—

本機は工場出荷時に、ソニー製のAV機器を操作できるように設定されています（下の表参照）。工場出荷時の設定と同じソニー製品を操作する場合は、メーカー番号の設定を行う必要はありません。
他社製のAV機器を操作する場合、またはソニー製のAV機器でも動作しないときは、15ページの手順に従ってメーカー番号を設定してください。

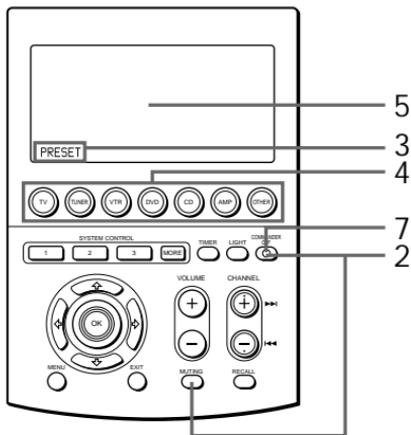
機器選択ボタン	操作できる機器	工場出荷時の設定
TV	・テレビ*1 ・ビデオ一体型テレビ*1 ・BSデジタルチューナー内蔵テレビ*2	ソニー製BSデジタルチューナー内蔵テレビ
TUNER	・デジタルCSチューナー ・BSデジタルチューナー*2 ・ケーブルテレビホームターミナル	ソニー製デジタルCSチューナー（スカイパーフェクTV! チューナー）
VTR	ビデオデッキ*1	ソニー製VHSビデオデッキ
DVD	DVDプレーヤー	ソニー製DVDプレーヤー
CD	CDプレーヤー	ソニー製CDプレーヤー
AMP	アンプ	ソニー製アンプ

ラベルキー	操作できる機器	工場出荷時の設定
TUNER2	・デジタルCSチューナー ・BSデジタルチューナー*2 ・ケーブルテレビホームターミナル	ソニー製BSデジタルチューナー
HDVR	ハードディスクビデオレコーダー*1	ソニー製ハードディスクビデオレコーダー
DVD2	DVDレコーダー／プレーヤー*2	ソニー製DVDレコーダー／プレーヤー
MD	MDデッキ	ソニー製MDデッキ
TUNER3	・デジタルCSチューナー ・BSデジタルチューナー*2 ・ケーブルテレビホームターミナル	ソニー製ケーブルテレビホームターミナル
VTR2	ビデオデッキ*1	ソニー製8mmビデオデッキ
VTR3	ビデオデッキ*1	ソニー製ベータビデオデッキ
DVD3	DVDプレーヤー	ソニー製ポータブルDVDプレーヤー
TAPE A	カセットデッキ*3	ソニー製カセットデッキ
TAPE B	カセットデッキ*3	ソニー製カセットデッキ
LD	LDプレーヤー	ソニー製LDプレーヤー
DAT	DATデッキ	ソニー製DATデッキ

*1アナログBSチューナー内蔵テレビまたはビデオデッキを含む。
*22002年4月時点の調査結果による対応
*3アナログオーディオコンパクトカセットデッキ

ちょっと一言

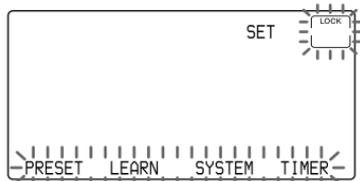
工場出荷時のそれぞれの機器に対する本機の操作ボタン／キーの機能については、「記憶されている機能一覧表」（92ページ）をご覧ください。

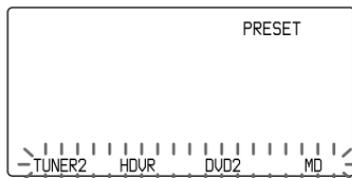
メーカー番号を設定する

例：松下電器のテレビを設定するには

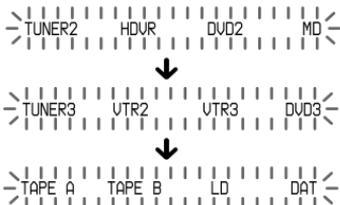
1 付属の「メーカー番号一覧表」を参照し、操作する機器のメーカー番号を探す。

メーカー番号が複数ある場合は、一番左の番号を使ってください。例えばパナソニック／ナショナル（松下電器）のテレビを設定するときは、まず「8202」を使います。

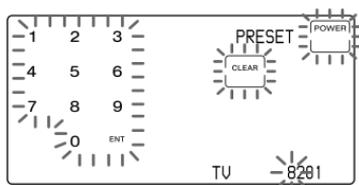
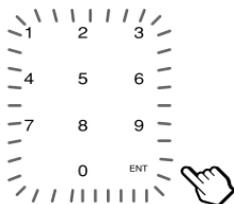
2 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

3 PRESETキーを押す。

モード表示キーに「PRESET」が表示されます。

4 設定する機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ラベルキーに表示される機器の名称を切り換えるには、OTHERボタンを押します。OTHERボタンを押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

次のページへつづく

ソニー以外のAV機器の操作をする —メーカー番号の設定—（つづき）

機器選択ボタン／ラベルキーを押すと、そのボタン／キーに登録してある機器の名称（例：TV）と、その機器に前回設定した4桁のメーカー番号が表示されます。
0〜9の数字、「ENT」、「CLEAR」および「POWER」が点滅します。

5 4桁のメーカー番号を押してからENTキーを押す。

例：「8202」を入力するには
「8」、「2」、「0」、「2」の順に押してからENTキーを押す。

数字入力の途中でCLEARキーを押すと
入力した数字は無効になり、前回設定した4桁のメーカー番号が表示されます。
一番左端の数字が点滅し、入力待ち状態になります。

メーカー番号が正しく設定されると
「ピー」という音とともに機器の名称、設定した4桁のメーカー番号、および「OK」が表示され、画面は手順３に戻ります。

6 他の機器のメーカー番号を設定する場合は、手順4と5を繰り返す。

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

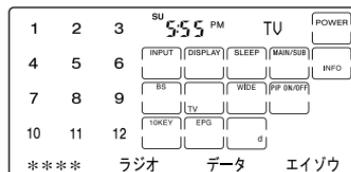
ご注意

- 「メーカー番号一覧表」にない番号を入力したり、間違った順番で数字を入力してからENTキーを押すと、「ピピピピピ」という音とともに「NG」が点滅し、設定画面はひとつ前に戻ります。その場合は、メーカー番号を確認してもう一度入力し直してください。
- 設定操作の途中で2分以上放置すると、その時点で入力途中の設定が解除されます。メーカー番号の設定をするには、もう一度COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押して設定し直してください。
- 4桁のメーカー番号の左端の数字は、TVなどの機器の種類を表します。手順5でメーカー番号を設定した時点で、機器の種類は決定されます。もし、機器選択ボタン／ラベルキーで選択している機器の名称と、設定したメーカー番号の機器の種類が異なる場合は、必要に応じてモード表示キーまたはラベルキーの表示を変更することができます（83、111ページ）。

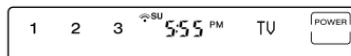
メーカー番号が正しく設定されているか確認する

1 確認したい機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ラベルキーに機器名称を表示させるには、OTHERボタンを押します。ラベルキーの表示を切り換えるには、OTHERボタンを何回か押します。

選んだ機器の操作キーが表示されます。

2 操作する機器本体の主電源を入れる。

3 操作する機器に本機を向けてPOWERキーを押す。

リモコン信号が送信されている間、
が表示されます。

正しく設定されていれば、機器の電源が切れます。

次のページへつづく

4 電源の操作が正しくできた場合は、チャンネルや音量などの他の操作も確認してみる。

詳しくは「お手持ちの機器をリモコン操作する」（20ページ）をご覧ください。

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

正しくリモコン操作ができないときは

付属の「メーカー番号一覧表」を参照し、操作したい機器に複数のメーカー番号がある場合は、他の番号を使って、もう一度15ページの設定操作を行ってください。

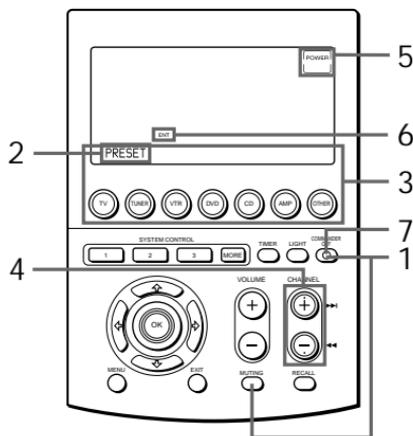
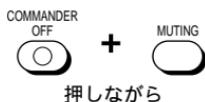
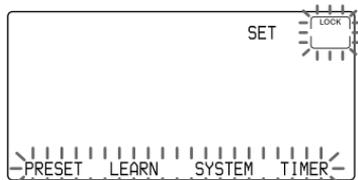
すでにリモコン信号が学習されている機器についてのご注意

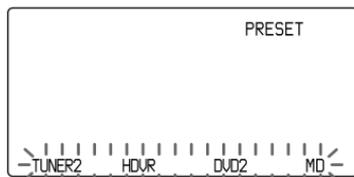
学習信号（22ページ）によって、操作ボタン／ラベルキーにリモコン信号がすでに記憶されている機器の機器選択ボタン／ラベルキーには、メーカー設定をすることができません。メーカー設定をする場合は、学習されたリモコン信号を消去してください（28ページ）。

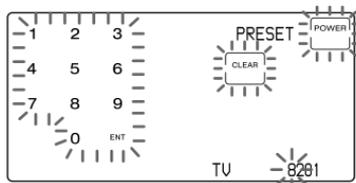
メーカー番号一覧にない機器を設定する

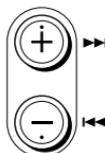
付属の「メーカー番号一覧表」にない機器についてはサーチ機能によって設定することができます。

サーチを始める前に

サーチ機能での設定を正確に行えるように、最初に設定する機器本体を以下の状態にしてください。
TV、AMP：電源を入れる。
CD、ＭＤ、TAPE、DAT：電源を入れ、再生するディスクまたはカセットテープを入れる。
その他の機器：電源を切る。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 PRESETキーを押す。

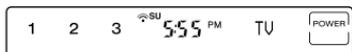
モード表示キーに「PRESET」が表示されます。

3 設定する機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ラベルキーに表示される機器の名称を切り換えるには、OTHERボタンを押します。OTHERボタンを押すたびに、ラベルキーは15ページの手順4のように切り換わります。
機器選択ボタン／ラベルキーを押すと、そのボタン／キーに登録してある機器の名称（例：TV）と、その機器に前回設定した4桁のメーカー番号が表示されます。

4 CHANNEL＋またはCHANNEL－ボタンを押す。

CHANNEL＋：押した回数分コード番号が送られます。
CHANNEL－：押した回数分コード番号が戻ります。
同じ種類の機器（例えば、「8」で始まる4桁のメーカー番号を持つTV）の中で、コード番号が送られ（戻り）ます。

ご注意
他の種類の機器（「3」、「4」などで始まるメーカー番号を持つ機器）の中で、サーチを行うには、手順3からやり直してください。または、他の種類の機器のメーカー番号を、手順4に入る前に入力してください（入力のしかたは16ページ手順5参照）。

5 操作する機器に本機を向けてPOWERキーを押す。

次のページへつづく

リモコン信号が送信されている間、
が表示されます。

メーカー番号が正しい場合は、TV、AMPの電源は切れ、CD、MD、DAT、TAPEの再生が始まり、他の機器の電源が入ります。手順6へ進んでください。
機器が正しく動作しない場合は、手順4と5を繰り返してください。

6 ENTキーを押す。

「ピー」という音とともにメーカー番号が設定され、機器の名称、4桁のメーカー番号、および「OK」が表示され、画面は手順2に戻ります。

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

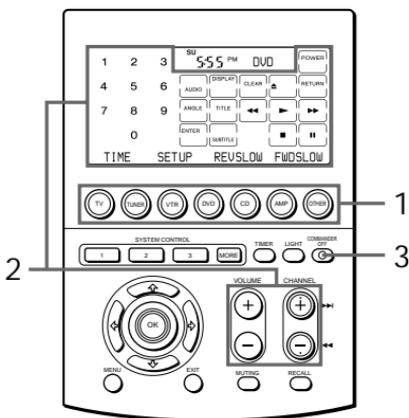
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

お手持ちの機器をリモコン操作する

ソニー製品以外の機器を操作する場合は、あらかじめメーカー番号の設定（14ページ）を行ってください。

例1：DVDプレーヤーを操作する

1 操作する機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ラベルキーに機器の名称を表示させるには、OTHERボタンを押します。ラベルキーの表示を切り換えるには、OTHERボタンを何回か押します。

選んだ機器の操作キーが表示されます。

1 2 3 SU 5:55 PM DVD POWER
4 5 6 AUDIO DISPLAY CLEAR RETURN
7 8 9 ANGLE TITLE
0 ENTER SUBTITLE
TIME SETUP REVSLOW FWDSLOW

ラベルキーに表示される操作キーを切り換えるには、モード表示キー（例：DVD）を何回か押します。DVDキーを押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

TIME　SETUP　REVSLOW　FWDSLOW
↓
REPEAT　マルチナビ　PLAYMODE　DISC
↓
←SEARCH　SEARCH→　DNR　VES

2 操作したい操作キーを画面から選んで押す。

リモコン信号が送信されている間、
が表示されます。

画面の操作キーのほかに、操作ボタン（VOLUME＋/－、MUTING、CHANNEL＋/－など）も使用することができます。
それぞれの機器の操作ボタン／キーの機能については、「記憶されている機能一覧表」（92ページ）をご覧ください。

3 機器の操作が終わったら、COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER
OFF

ご注意

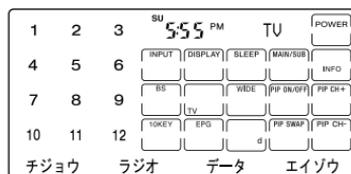
機器や機能によっては操作できないことがあります。この場合は、お手持ちの機器のリモコン信号を本機に学習させてからお使いください（22ページ）。ただし、赤外線リモコンに対応していない機器や機能は、本機では操作できません。

例2：BSデジタルチューナー内蔵テレビでBSチャンネルをダイレクト選局する

20ページの手順1でTVボタンを押すと、地上波放送用の操作画面が表示されます。時計表示キーを押すと、BSデジタル放送用の数字キーに切り換わります。

地上波放送用

BS**デジタル放送用**

BS
1　2　3
4　5　6
7　8　9
10/0　11　12/ENT

アナログBSチューナー内蔵テレビをご使用になる場合も、時計表示キーを押して、地上波放送用とBS放送用の数字キーを切り換えることができます。

ご注意

時計表示キーを押して切り換えることができるのは、テレビ（4桁のメーカー番号が8で始まる機器）が設定されている操作画面のみです。

次のページへつづく

音量調節について

音量を調節するときはVOLUME＋/－ボタンを押し、一時的に消音するときはMUTINGボタンを押します。
映像機器を選んでいるときはテレビの音量が調節され、オーディオ機器を選んでいるときはアンプの音量が調節されます。この設定は変えることもできます。

ご注意

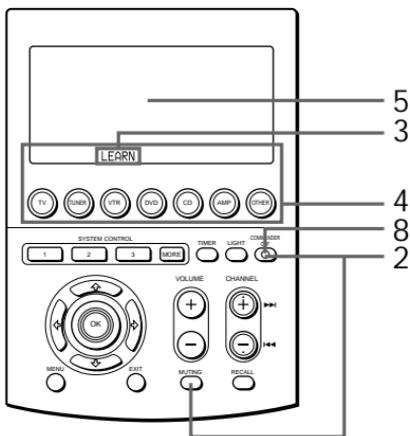
- 学習機能（22ページ）でVOLUME ＋/－ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させている機器を選んだ場合、テレビやアンプの音量が調節されるかわりに学習した信号の操作になります。
- TVやAMPのVOLUME ＋/－ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合、他の機器では学習した信号の操作になります。また、他の機器のVOLUME ＋/－ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合は、その機器を選んだときのみ学習した信号の操作になります。
- TVまたはAMPに、テレビやアンプ以外の機器を設定（51ページ）していると、他の機器を選んでいるときにテレビやアンプの音量調節はできません。

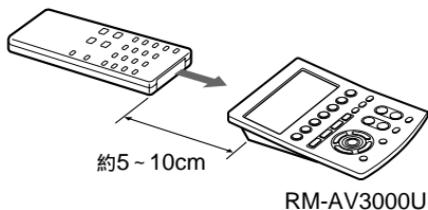
その他のリモコン信号を記憶させる

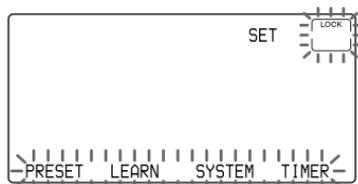
—学習機能—

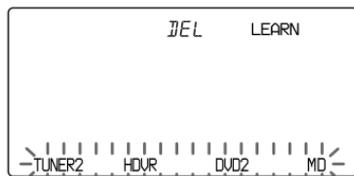
メーカー番号を設定しても操作できない機器や機能を操作するために、本機のボタン／キーに操作したい機器のリモコン信号を「学習」させることができます。
学習機能を使えば、メーカー番号を設定（14ページ）したあとで、それぞれのボタン／キーの機能を変えることもできます。
機器選択ボタン／ラベルキーに「学習」させる場合は51ページをご覧ください。
SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに「学習」させる場合は53ページをご覧ください。

ご注意

- 110度デジタルCSチューナー、ビデオとDVDやテレビとDVDなどの一体型機器、アンプ内蔵型DVD機器、HDD搭載機器などの複合機、PCモニター（テレビチューナー内蔵型を含む）などの製品は、学習させれば対応が可能になります。
- 学習できないリモコン信号もあります。

例：お使いのビデオデッキのリモコンの►（再生）信号を本機のVTRの►キーに記憶させるには

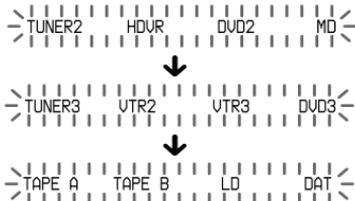
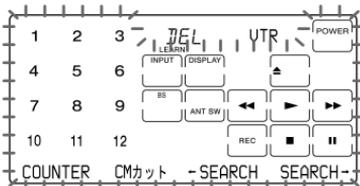
1 本機RM-AV3000Uとお使いの機器（ビデオデッキ）のリモコンを向かい合わせにする。

2 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

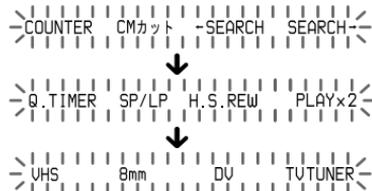
モード表示キーに「SET」が表示されます。

3 LEARNキーを押す。

モード表示キーに「LEARN」が表示されます。

4 学習させる機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ラベルキーに表示される機器の名称を切り換えるには、OTHERボタンを押します。OTHERボタンを押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

基本的な使いかた

次のページへつづく

画面上では、学習可能なキーが点滅します。

ラベルキーに表示される操作キーを切り換えるには、モード表示キー(例：VTR)を何回か押します。VTRキーを押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

VTR

表示の点滅について

選んだ機器の操作キーの中で、学習信号以外の信号を設定してあるキーは、何も設定していないキーの2倍の速さで点滅します。

5 学習信号を記憶させたい操作キーまたは、操作ボタンを押す。

「LEARN」が点滅します。
画面の操作キーの中で、押されたキーだけが表示されます。

VOLUME+/–、CHANNEL+/–ボタンなどの操作ボタンを押した場合

「LEARN」が点滅し、一番右のラベルキーに押されたボタンの名称が表示されます。

6 「ピー」という音がするまで、お使いの機器(ビデオデッキ)のリモコンのボタンを押し続ける。

(「ピー」という音がするまで押し続けないと、学習信号が正しく設定されません。)

「LEARN」が点灯します。
学習信号が正しく設定されると、画面上の学習させたキーは点灯し、その他のキーは点滅します。

「NG」が表示されたら

学習信号が正しく設定されませんでした。もう一度手順5と6を行ってください。

7 引き続き他のボタン／キーに学習させるときは、手順5と6を繰り返す。

他の機器のボタン／キーに学習させるときは

手順4で学習させる機器を選び、手順5と6を行ってください。

8 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ご注意

- 学習の途中で2分以上放置すると、学習機能が解除されます。
- 手順5のあと10秒以内に手順6を行わないと、手順4の状態に戻ります。（画面上の学習可能なキーが点滅します。）この場合、画面表示が点滅している間にもう一度手順5を行ってください。
- 手順6で誤って学習してしまったら、DELキーを押しながら誤ったキーを押してください。その後、手順5から操作し直してください。

正しくリモコン操作ができないときは

学習したボタン／キーで正しく操作できないときは、もう一度学習をやり直してください。（例えば、VOLUME＋ボタンを1回押しただけで音量が非常に大きくなる場合などは、学習中にノイズが入った可能性があります。）

学習したあとのメーカー設定は

学習したあとにメーカー設定を行うことはできません。

録音または録画信号を学習させるときは

お使いのテープデッキやビデオデッキで、録音や録画をするのに、ふたつのボタンを同時に押す（●ボタンと►ボタンなど）必要がある場合は、次のいずれかの方法で学習信号を本機に記憶させてください。（但し、この設定はRECと►キーのみ有効です。）

本機のふたつのキーで操作したいとき

24ページの手順5で、RECキーを押しながら►キーを押して、ふたつのキーを表示させます。次に手順6で、お使いの機器のリモコンのふたつのボタンを同時に押します。

本機のひとつのキーで操作したいとき

24ページの手順5で、RECキーを押して、RECキーだけを表示させます。次に手順6で、お使いの機器のリモコンのふたつのボタンを同時に押します。

VOLUME＋/－ボタンや MUTINGボタンにリモコン信号を学習させるときは

TVやAMPのVOLUME＋/－ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合、他の機器では学習した信号の操作になります。また、他の機器のVOLUME＋/－ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合は、その機器を選んだときのみ学習した信号の操作になります。

エアコンのリモコン信号を学習させるときは

55ページのご注意をお読みください。

次のページへつづく

その他のリモコン信号を記憶させる
—学習機能—（つづき）

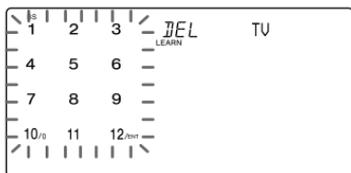
よく使う操作キーのみ表示させるには

使わない操作キーは隠すことができます。
23ページの手順4のあとで、DELキーを押しながら、画面上の点滅しているキーの中から隠したいキーを押します。押されたキーの点滅はしだいに遅くなり、表示から消えます。
再び表示させたいときは、同じ操作を行ってください。

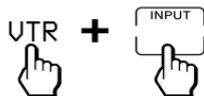
ご注意

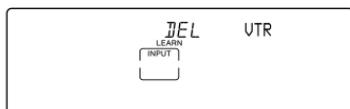
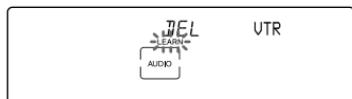
学習信号を記憶しているキーは隠すことができません。

学習させる機器の機器選択ボタン／ラベルキーにテレビが設定されている場合

機器選択ボタン／ラベルキーにテレビが設定されている場合に限り、23ページの手順4で、モード表示キー（例：TV）を押すたびに下記のように表示が切り換わります。通常の操作のときに時計表示キーを押して切り換えることができるキー（21ページ）にも学習させることができます。

操作キーの表示を切り換えるには

画面中の操作キーの表示を一番適したものに切り換えることができます。

1 23ページの手順4のあと、モード表示キー（例：VTR）を押しながら、学習信号を記憶させたいキーを何回か押す。

押しながら

キーを押すたびに表示が切り換わります。

2 表示させたい名称が表れたら、モード表示キーから指を離す。

3 続けて24〜25ページの手順6から8の操作を行う。

ご注意
- 操作キーの表示を切り換えることができるのは、学習信号の設定を行っているときだけです。すでに学習信号を記憶させた操作キーの表示を切り換えるには、まず学習信号を消去してください（28ページ）。次に学習信号の設定を行って、操作キーの表示を切り換えてください。
- 操作キーの表示を切り換えない場合は、工場出荷時の設定の表示でお使いになれます。
- 1〜12の数字キーの表示を切り換えることはできません。

ラベルキーの表示を変更するには
学習信号の設定を行っているときに、ラベルキーに最大8文字まで入力して、お好みの名称を表示させることができます。23ページの手順4のあと、表示を変えたいラベルキー（例：COUNTER）を2秒以上押し続けるとラベルキーが入力可能な状態になります。111ページの手順に従って文字を入力してください。

モード表示キーの機器の名称を変更するには
学習を行う前または後に機器の名称を変更することができます。83、111ページの手順に従って文字を入力してください。

正しく学習させるコツ
- 学習中に、リモコンを動かさないでください。
- 本機が操作説明どおりの状態になるまで、お使いの機器のリモコンのボタンを押し続けください。
- 両方のリモコンに、新しい電池を入れて学習を行ってください。
- 直射日光のあたる場所や、照明器具の下などは避けてください。（ノイズが入る原因となります。）
- お使いの機器のリモコンの形状によっては、発光部の位置がずれている場合があります。うまく学習できないときは、リモコンの位置を変えてみてください。
- 双方向リモコン（一部ソニー製のチューナーやアンプに装備）で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。

⚠警告

幼児やペットなどに誤って触らせない

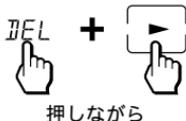
このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。
使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能（75ページ）を使って操作ボタンをロックしてください。

次のページへつづく

学習したボタン／キーの機能を変更／消去する

学習したボタン／キーの機能を変更する場合は、まず学習信号を消去してから学習を行ってください。

ボタン／キーの学習信号を消去するには

1 23ページの手順4のあと、DELキーを押しながら学習信号を消去したいボタン／キーを押す。

画面上のキーは、学習信号の消去が完了すると点滅し、学習可能なキーになります。

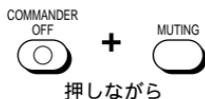
2 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

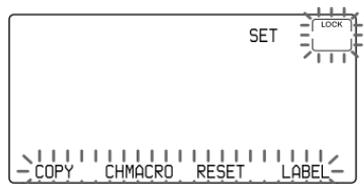
本機の画面表示が消えます。

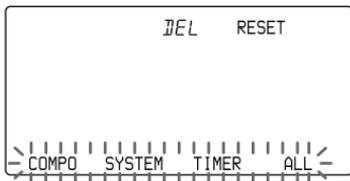
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

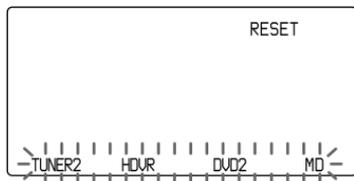
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ある機器の操作面に学習させた信号をすべて消去するには

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

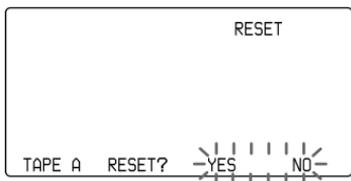
モード表示キーに「SET」が表示されます。

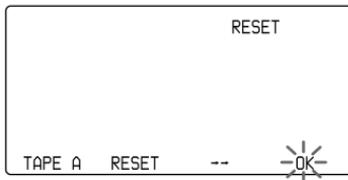
2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「RESET」を表示させる。

3 RESETキーを押す。

モード表示キーに「RESET」が表示されます。

4 COMPOキーを押す。

ラベルキーに機器の名称が表示されます。

ラベルキーに表示される機器の名称を切り換えるには、OTHERボタンを押します。OTHERボタンを押すたびに、ラベルキーは15ページの手順4のように切り換わります。

5 学習内容をすべて消去したい機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

一番左のラベルキーに機器の名称が表示されます。

6 YESキーを押す。

消去の間、「➔ ➔」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。

NOキーを押すと

画面は手順4に戻ります。

他の機器の操作面に学習させた信号を消去するには

手順5と6を繰り返してください。

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

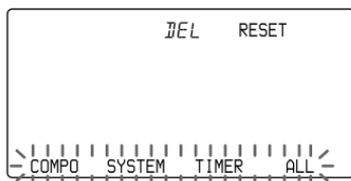
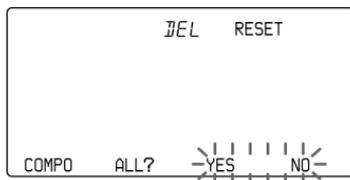
本機の画面表示が消えます。

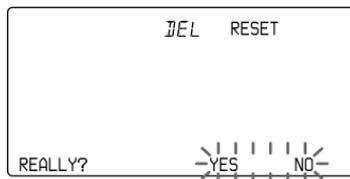
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

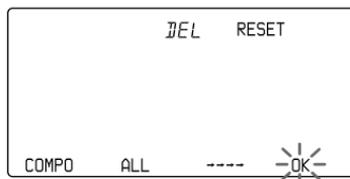
次のページへつづく

すべての機器の操作面に学習させた信号を消去するには

1 28ページの手順1〜3の操作をする。

2 DELキーを押しながらCOMPOキーを押す。

3 YESキーを押す。

「REALLY?」が点灯し、「YES」と「NO」が点滅します。

NOキーを押すと
画面は手順1に戻ります。

4 YESキーを押す。

消去の間、「➔➔➔➔」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。

NOキーを押すと
画面は手順1に戻ります。

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する

本機は、映像機器の音はテレビのスピーカーから、オーディオ機器の音はアンプにつないだスピーカーから聞くことを想定して、映像機器の音量はテレビで、オーディオ機器の音量はアンプで調節できるようになっています。例えば、ビデオデッキを操作しているとき、音量を調節するためにテレビ操作モードに切り換える必要はありません。

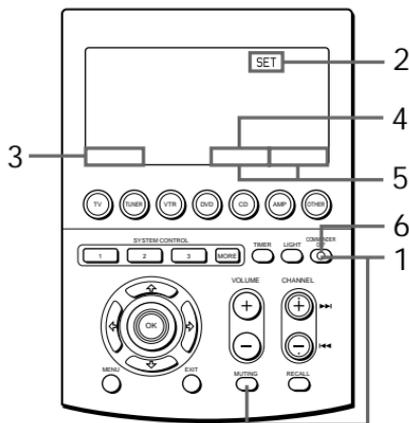
工場出荷時は以下のように設定されています。

機器選択ボタン	音量調節できる機器
TV	テレビ
TUNER	テレビ
VTR	テレビ
DVD	テレビ
CD	アンプ
AMP	アンプ

ラベルキー	音量調節できる機器
TUNER2	テレビ
HDVR	テレビ
DVD2	テレビ
MD	アンプ
TUNER3	テレビ
VTR2	テレビ
VTR3	テレビ
DVD3	テレビ
TAPE A	アンプ
TAPE B	アンプ
LD	テレビ
DAT	アンプ

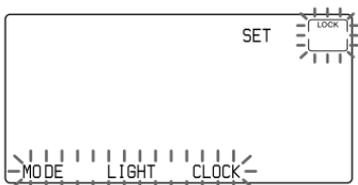
お使いの映像機器をオーディオシステムにつないで、映像機器の音もアンプにつないだスピーカーから聞こえるように接続している場合は、次の手順に従って工場出荷時の設定を変えてください。映像機器の音量を調節するときに、アンプの操作画面に切り換える必要がないので便利です。

工場出荷時の音量調節設定を変えるには

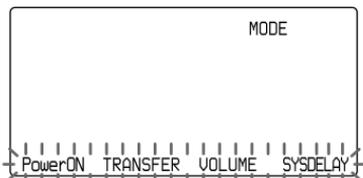
次のページへつづく

オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する（つづき）

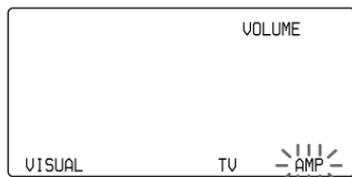
1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

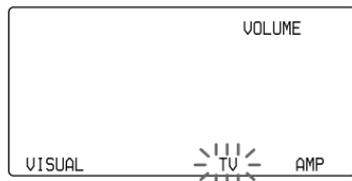
モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させる。

SETキーを押すたびに、ラベルキーは13ページの手順2のように切り換わります。

3 MODEキーを押す。

モード表示キーに「MODE」が表示されます。

4 VOLUMEキーを押す。

モード表示キーに「VOLUME」が表示され、ラベルキーの「AMP」が点滅します。

5 AMPキーを押す。

「ピー」という音とともに切り換えが完了し、映像機器（TV、TUNER、TUNER2、TUNER3、VTR、VTR2、VTR3、DVD、DVD2、DVD3、LD、およびHDVR）の音量をアンプで調節できるように切り換わります。
「AMP」は点灯し、「ＴＶ」が点滅します。

映像機器の音量調節をテレビで行うように戻すにはＴＶキーを押します。

6 COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けて画面表示を消す。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと、画面はひとつ前の設定モードになります。

ご注意

学習機能によって、VOLUME＋/－ボタンまたはMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させている場合、この手順を行ってもVOLUME＋/－ボタンまたはMUTINGボタンの設定は変わりません。

操作プログラムを実行する

—システムコントロール機能—

システムコントロール機能を使って、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに操作プログラムを登録することができます。いったん登録しておけば、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押すと、登録した操作プログラム（システムマクロ）を実行することができます。(SYSTEM CONTROLラベルキーを表示させるにはMOREボタンを押します。)

例えばビデオを見る場合、下記のような操作が必要になります。

例：

1 テレビの電源を入れる
2 ビデオの電源を入れる
3 アンプの電源を入れる
4 アンプの入力切り換えをVIDEO1にする
5 テレビの入力切り換えをビデオにする
6 ビデオの再生を始める

それぞれのSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーには32個の連続した操作ステップを登録することができます。

システムコントロール機能は機器選択ボタン／ラベルキーにも登録することができます。この場合は、機器選択ボタン／ラベルキーを1秒以上押し続けると、登録した一連のプログラム（コンポーネントマクロ）が実行されます。コンポーネントマクロの実行開始までの時間は設定によって変えることができます（45ページ）。

プログラムが実行されている間、本機から連続して送信されるリモコン信号に関連したキーが、本機の画面に表示されます。

SYSTEM CONTROL1とSYSTEM CONTROL3ボタンについて

SYSTEM CONTROL1とSYSTEM CONTROL3ボタンには、工場出荷時にそれぞれ次のプログラムが設定されています。

SYSTEM CONTROL1**ボタン：**

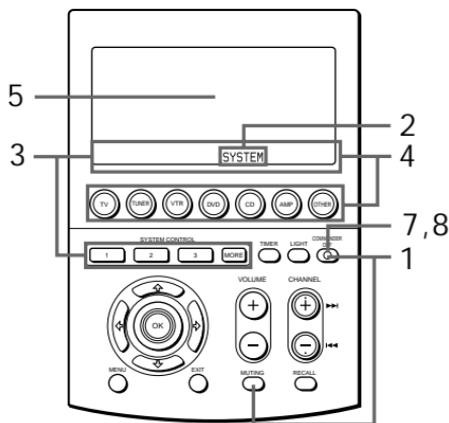
リモコンの信号が届く範囲にあるソニー製品の電源を同時に切ります。

SYSTEM CONTROL3**ボタン：**

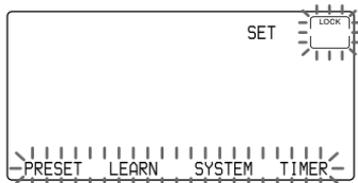
リモコンの信号が届く範囲にあるソニー製品の電源を同時に入れます。

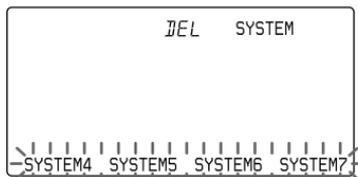
進んだ使いかた

次のページへつづく

SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに操作プログラム（システムマクロ）を登録する

例：33ページの操作プログラムをSYSTEM CONTROL2ボタンに登録する

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 SYSTEMキーを押す。

モード表示キーに「SYSTEM」が表示されます。

3 SYSTEM CONTROLボタン（1〜3）またはラベルキー（SYSTEM4〜15）の中からプログラムを登録するボタン／キーを選んで押す（例：SYSTEM CONTROL2）。

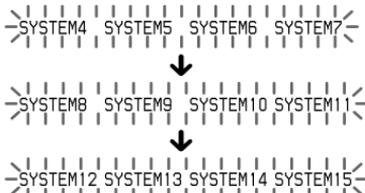
ラベルキーを切り換えるにはMOREボタンを押します。MOREボタンを押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

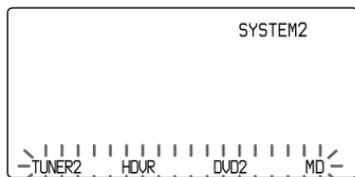
SYSTEM4 SYSTEM5 SYSTEM6 SYSTEM7

↓

SYSTEM8 SYSTEM9 SYSTEM10 SYSTEM11

↓

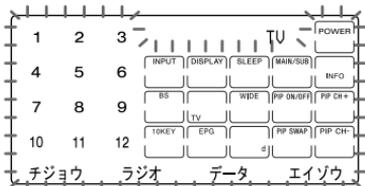
SYSTEM12 SYSTEM13 SYSTEM14 SYSTEM15

プログラムがすでに登録されているラベルキーは点灯し、その他は点滅します。

モード表示キーに、選んだシステム番号が表示されます（例：SYSTEM2）。

すでにプログラムされているボタンに、もう一度プログラムし直すときは

SYSTEM CONTROL1とSYSTEM CONTROL3**ボタン：**
40ページを参照し、工場出荷時にプログラムされている内容を消去してください。
その他のボタン：
37ページを参照し、プログラムを消去してください。

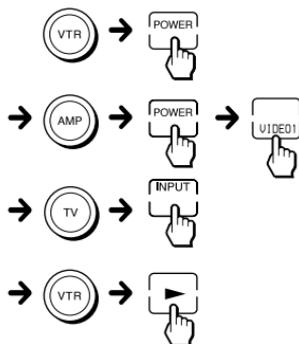
4 操作したい機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す（例：TV）。

ラベルキーの表示を切り換えるには、OTHERボタンを押します。

モード表示キーに選んだ機器の名称（例：TV）が表示され、操作キーが点滅します。

5 登録したい操作キー／ボタンを押す。

テレビの電源を入れる場合はPOWERキーを押します。

6 手順4と5を繰り返し、操作プログラムを入力する。

この例では次のように操作キー／ボタンを押します。

7 登録したい操作キー／ボタンをすべて押したら、COMMANDER OFFボタンを押す。

「ピー」という音とともに操作プログラムの登録が終了し、操作画面が順に表示されます。最後に入力した機器の操作画面が表示され、システムコントロール機能の設定が完了し、手順2の画面に戻ります。

次のページへつづく

画面にはない操作ボタンを登録すると
一番右のラベルキーにボタンの名称（VOLUME＋/−、MUTING、CHANNEL＋/−、RECALL、MENU、OK、EXIT、⇧、⇩、⇨および⇦）が表示されます。

8 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ご注意

- 設定操作の途中で2分以上放置すると、その時点で設定が終了し、入力途中のプログラムが登録されます。設定を完了するには、プログラムを消去（37ページ）して、もう一度COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押して設定し直してください。途中で終了した時点から入力を続けることはできません。
- すでに学習信号（22ページ）が記憶されているSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに、プログラムを登録しようとすると、「NG」が点滅してそのボタン／キーに登録することはできません。プログラムを登録する場合、まず学習信号を消去（28ページ）してください。
- システムコントロール機能によってプログラムが登録されたSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに関連したキー／ボタンのメーカー設定（14ページ）を変えたり、学習信号（22ページ）を記憶させた場合、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押すと、新しい信号が送信されます。
- 操作プログラムを登録している間は、DELキーは表示されず、登録の途中で操作ステップを消去することはできません。操作ステップの入力を間違えた場合は、手順1から操作をやり直してください。
- 入力できる操作ステップは32個までです。32個めの操作ステップ入力後、システムコントロール機能の設定が完了し、プログラムとして登録されます。設定し直す場合はプログラムを消去（37ページ）して、手順1から操作をやり直してください。
- 35ページの手順6で、すでに電源オンのプログラム設定（46ページ）をした機器を選択し、POWERキーの操作ステップを登録すると、システムコントロール機能が実行されたときに、その機器が選択されると同時に機器の電源が入り、その後、システムコントロール機能に登録されたPOWERキーが働いて機器の電源が切れてしまいます。この場合は、システムコントロール機能にPOWERキーの操作ステップを登録しないようにするか、電源オンのプログラム設定を消去（47ページ）してからシステムコントロール機能にPOWERキーの操作ステップを登録してください。

操作ステップの間隔について

- 操作ステップの間隔は変更することができます（43ページ）。
- 連続した操作ステップの信号を機器側でうまく受信できない場合は、35ページの手順6の、各操作ステップ入力の間で、TIMERボタンを押して間隔を入力してください。この操作はひとつのステップとして登録されます。

操作ステップの順番について

- お使いの機器によっては、連続したリモコン信号を受信できない場合があります。例えば、通常テレビは電源オンの信号の直後には次の信号に反応しません。従って、テレビ電源オンとテレビ入力切換えの信号が連続していると機器がうまく作動しないことがあります。その場合は下の例のように、ふたつの信号の間に別の信号を入力してください。

  テレビ電源オン→ビデオ電源オン→
  ビデオ再生→テレビ入力切り換え

- 登録された操作プログラムの実行が終了すると、本機の画面は最後の操作ステップでの機器の操作画面になります。よく使う機器の操作ステップを最後の操作ステップとして登録することによって、次にその機器を使うときに機器選択ボタン／ラベルキーを押す手間を省くことができます。
- 機器選択ボタン／ラベルキーに操作プログラムを登録した場合（41ページ）、プログラムの実行が終了すると、登録されている機器選択ボタン／ラベルキーの機器操作の画面になります。

モード表示キーのシステム番号の表示（SYSTEM4～15）を変更するには

システムコントロール機能の設定を行っているときに、モード表示キーに文字を入力して、お好みの名称を表示させることができます（最大8文字）。34ページの手順3のあと、モード表示キー（例：SYSTEM4）を2秒以上押し続けるとモード表示キーが入力可能な状態になります。111ページの手順に従って文字を入力してください。

SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに登録したプログラム（システムマクロ）を消去するには

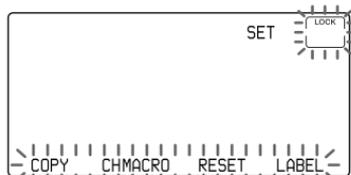
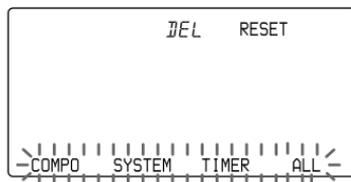
1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

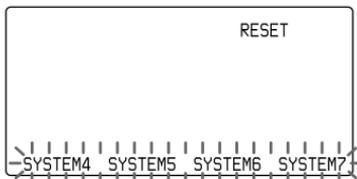
モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「RESET」を表示させる。

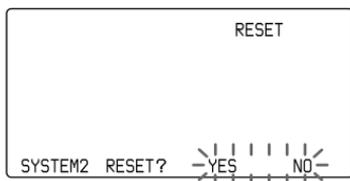
3 RESETキーを押す。

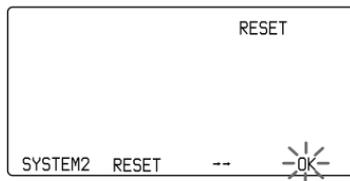
モード表示キーに「RESET」が表示されます。

次のページへつづく

4 SYSTEMキーを押す。

ラベルキーにシステム番号が表示されます。

ラベルキーを切り換えるにはMOREボタンを押します。MOREボタンを押すたびに、ラベルキーは34ページの手順3のように切り換わります。

5 プログラムを消去したいSYSTEM CONTROLボタン(1～3)またはラベルキー（SYSTEM4～15）を押す。

一番左のラベルキーにシステム番号が表示されます。

6 YESキーを押す。

消去の間、「➔➔」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。

NOキーを押すと

画面は手順4に戻ります。

他のシステム番号に登録したプログラムを消去するには

手順5と6を繰り返してください。

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

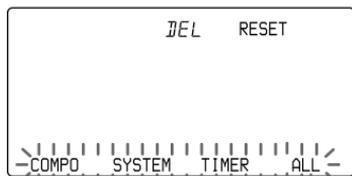
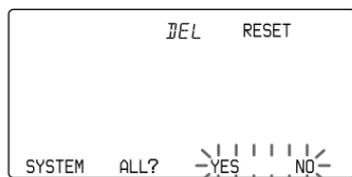
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

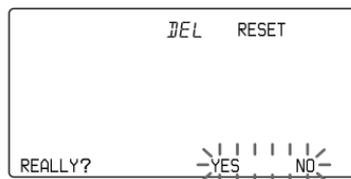
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

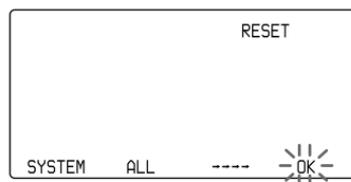
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

すべてのSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに登録したプログラム（システムマクロ）を消去するには

1 37ページの手順1〜3の操作をする。

2 DELキーを押しながらSYSYTEMキーを押す。

3 YESキーを押す。

「REALLY?」が点灯し、「YES」と「NO」が点滅します。

NOキーを押すと
画面は手順1に戻ります。

4 YESキーを押す。

消去の間、「→→→→」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。

NOキーを押すと
画面は手順1に戻ります。

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

進んだ使いかた

次のページへつづく

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

SYSTEM CONTROL1とSYSTEM CONTROL3ボタンのプログラムを消去するには

工場出荷時には、SYSTEM CONTROL 1ボタンにソニー製品の電源オフのプログラムが、SYSTEM CONTROL3ボタンにソニー製品の電源オンのプログラムが設定されています。
それぞれのボタンのプログラムを消去するときは、次の手順で操作してください。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。
2 表示画面にあるSYSTEMキーを押す。
3 表示画面にあるDELキーを押しながらSYSTEM CONTROL1またはSYSTEM CONTROL3ボタンを押す。
選んだボタンのプログラムが消去されます。

SYSTEM CONTROL1またはSYSTEM CONTROL3ボタンの設定を工場出荷時の状態に戻すには

SYSTEM CONTROL1またはSYSTEM CONTROL3ボタンの設定を工場出荷時の状態に戻すには、次のように操作します。

1 SYSTEM CONTROL1またはSYSTEM CONTROL3ボタンに記憶させた学習信号（55ページ）または登録したプログラム（37ページ）を消去する。
2 SYSTEM CONTROL1またはSYSTEM CONTROL3ボタンに登録したプログラムを消去する操作をもう一度行う（37ページ）。
（38ページの手順5でSYSTEM CONTROL1またはSYSTEM CONTROL3ボタンを選びます。）

ご注意

上記の操作を行ってもシステムマクロの操作ステップの間隔（36ページ）は工場出荷時の状態には戻りません。

システムコントロール機能についてのご注意

• お使いのそれぞれの機器のリモコン受光部が離れすぎていたり、受光部がふさがれていると、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押しても、機器の連続した操作ができない場合があります。
• 上記または他の理由で機器の操作がうまくできなかった場合は、必ずすべての機器を、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押す前の状態に戻してください。そのまま続けると、再びSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押したときに、機器が正常に動作しません。
• お使いの機器によっては、電源オン／オフのリモコン信号を受光するたびに、交互に電源が入ったり切れたりするため、本機のシステムコントロール機能では電源が入らない場合があります。システムコントロール機能をお使いになる前に、機器の電源オン／オフの状態を確認してください。

機器選択ボタン／ラベルキーに操作プログラム（コンポーネントマクロ）を登録する

システムコントロール機能を使って、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーと同じように、最大32個の操作ステップのプログラム（コンポーネントマクロ）を機器選択ボタン／ラベルキーにも登録することができます。
システムコントロール機能で機器選択ボタン／ラベルキーに登録したプログラムを実行するには、機器選択ボタン／ラベルキーを1秒以上押し続けます。(機器選択ラベルキーを表示させるにはOTHERボタンを押します。)
コンポーネントマクロの実行開始までの時間は設定によって変えることができます（45ページ）。

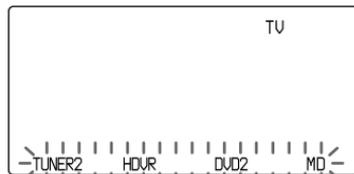
ご注意

- システムコントロール機能により登録したプログラムは、機器選択ボタン／ラベルキーを1秒以上押し続けると実行されます。1秒より短く押すと、通常の機器選択ボタン／ラベルキーの機能が働き、その機器の操作キーが表示されます。
- 36ページの「操作ステップの間隔について」と40ページの「システムコントロール機能についてのご注意」もご覧ください。

例：33ページの操作プログラムをTVボタンに登録する

1 34ページの手順1〜3の操作をする。

2 プログラムを登録する機器選択ボタンを押す（例：TV）。

選んだ機器の名称がモード表示キーに表示され、機器選択ボタン以外の機器の名称がラベルキーに表示されます。

ラベルキーにプログラムを登録する場合は、ラベルキーを押します。ラベルキーの表示を切り換えるには、OTHERボタンを何回か押します。OTHERボタンを押すたびに、ラベルキーは15ページの手順4のように切り換わります。

登録しようとする機器選択ボタン／ラベルキーにすでにプログラムが登録されている場合

機器選択ボタン／ラベルキーを押すと、登録した操作ステップが順に画面に表示されます。新しいプログラムを登録するときは、まずプログラムを消去してください（42ページ）。

次のページへつづく

3 35〜36ページの手順4〜8の操作を行います。

ご注意

- 電源オンのプログラム（46ページ）が設定されている機器選択ボタン／ラベルキーにもコンポーネントマクロを登録することができます。その場合は、電源オンのプログラムの上にコンポーネントマクロが上書きされ、電源オンのプログラムは使えなくなります。機器選択ボタン／ラベルキーからコンポーネントマクロを消去すれば（42ページ）、再び電源オンのプログラムが使えるようになります。
- 学習信号が記憶されている機器選択ボタン／ラベルキー（22ページ）にコンポーネントマクロを登録することはできません。登録しようとすると「NG」が点滅します。
- コンポーネントマクロが登録されている機器選択ボタン／ラベルキーに電源オンのプログラム（46ページ）も設定することができますが、操作時にはコンポーネントマクロが優先されるので、電源オンのプログラムは使えません。機器選択ボタン／ラベルキーからコンポーネントマクロを消去すれば（42ページ）、電源オンのプログラムが使えるようになります。
- 設定操作の途中で2分以上放置すると、その時点で設定が終了し、入力途中のプログラムが登録されます。設定を完了するには、プログラムを消去（42ページ）して、もう一度手順1から設定し直してください。途中で終了した時点から入力を続けることはできません。
- システムコントロール機能によってコンポーネントマクロが登録された機器選択ボタン／ラベルキーに関連したキー／ボタンのメーカー設定（14ページ）を変えたり、学習信号（22ページ）を記憶させた場合、機器選択ボタン／ラベルキーを押すと、新しい信号が送信されます。

機器選択ボタン／ラベルキーに登録したプログラム（コンポーネントマクロ）を消去するには

1 28〜29ページの手順1〜4の操作をする。

2 DELキーを押しながらコンポーネントマクロを消去したい機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ラベルキーに表示される機器の名称を切り換えるには、OTHERボタンを何回か押します。

3 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER
OFF

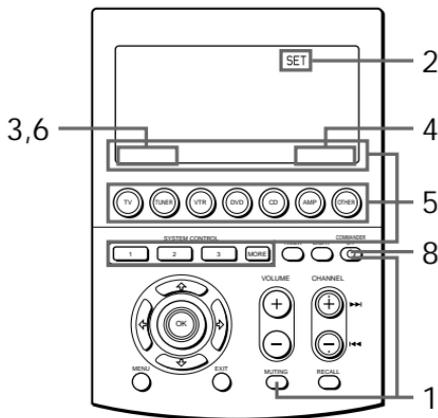
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

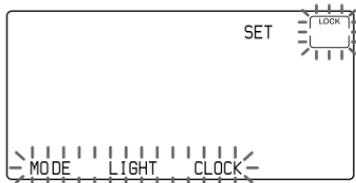
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

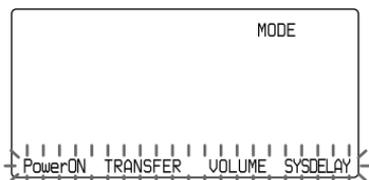
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

操作ステップの間隔を変更する

システムコントロール機能（33ページ）またはタイマー機能（65ページ）を使って登録したプログラムの各操作ステップの間隔を、100～900msの間で50msごとに変更することができます。
（1ms：1/1000秒）

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

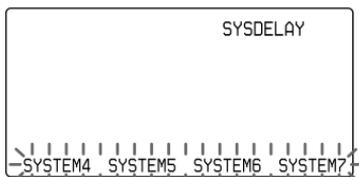
モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させる。

3 MODEキーを押す。

モード表示キーに「MODE」が表示されます。

4 SYSDELAYキーを押す。

モード表示キーに「SYSDELAY」が表示されます。

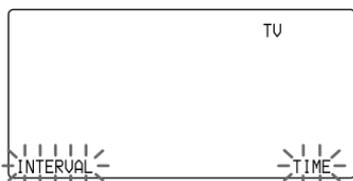
進んだ使いかた

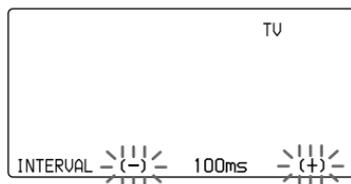
次のページへつづく

5 操作ステップの間隔を変更したいプログラムが登録されているSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキー、機器選択ボタン／ラベルキーまたはタイマープログラム番号のラベルキーを押す。

ラベルキーのシステム番号を切り換えるには
MOREボタンを何回か押します。

ラベルキーに機器の名称を表示させ、表示を切り換えるには
OTHERボタンを何回か押します。

ラベルキーにタイマープログラム番号を表示させ、表示を切り換えるには
TIMERボタンを何回か押します。

機器選択ボタン／ラベルキーを押した場合は手順6へ進みます。

SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーまたはタイマープログラム番号のラベルキーを押した場合は手順7へ進みます。

6 INTERVALキーを押す。

現在設定されている操作ステップの間隔が表示されます。

7 （＋）または（－）キーを押して操作ステップの間隔を変更する。

100～900msの間で50msごとに変更することができます。
（＋）キーを押すたびに操作ステップの間隔は50msずつ増えます。
（－）キーを押すたびに操作ステップの間隔は50msずつ減ります。

8 COMMANDER OFFボタンを押す。

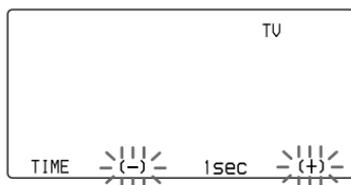
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

コンポーネントマクロの実行時間を変更する

コンポーネントマクロ（41ページ）のプログラム実行までの時間を調整することができます。

1 43〜44ページの手順1〜5の操作をする。

2 TIMEキーを押す。

現在設定されているコンポーネントマクロの実行時間が表示されます。

3 （＋）または（−）キーを押してコンポーネントマクロの実行時間を変更する。

0〜2 sec（秒）の間で1 秒ごとに変更することができます。
（＋）キーを押すたびに実行時間は1秒ずつ増えます。
（−）キーを押すたびに実行時間は1秒ずつ減ります。

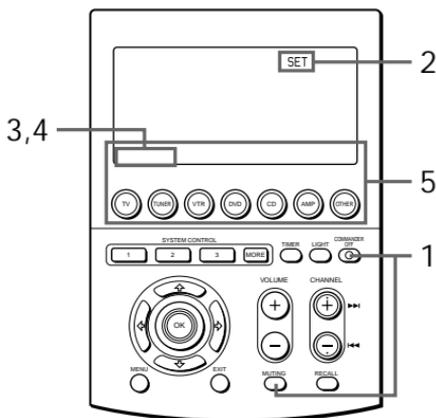
4 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

機器選択ボタン／ラベルキーの機能を拡張する

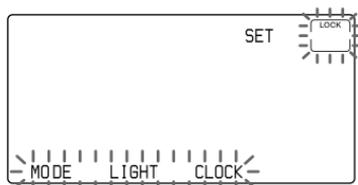
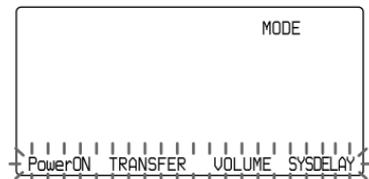
機器を選択すると同時に選んだ機器の電源が入るように設定する（ソニー製品のみ）

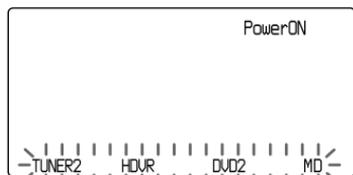
機器選択ボタン／ラベルキーにソニー製品の電源オンのプログラム設定を追加することができます。機器選択ボタン／ラベルキーを押すと、選択した機器の電源が入ります。

例: TVボタンに電源オン機能を設定するには

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

押しながら

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させる。

3 MODEキーを押してモード表示キーに「MODE」を表示させる。

4 PowerONキーを押す。

モード表示キーに「PowerON」が表示される。

電源オンのプログラム設定ができるソニー製品の機器の名称が点滅します。その他の機器の名称は点灯します。

5 機器選択ボタン／ラベルキーを押して電源オンのプログラム設定をしたい機器を選ぶ。

（ラベルキーを切り換えるにはOTHERボタンを押します。）

「ピー」という音とともに選んだ機器の名称と「POWER ON」が表示され、画面は手順４に戻ります。

電源オンのプログラム設定を消去するには

46〜47ページの手順1〜5をもう一度行います。

画面は次のようになります。

6 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

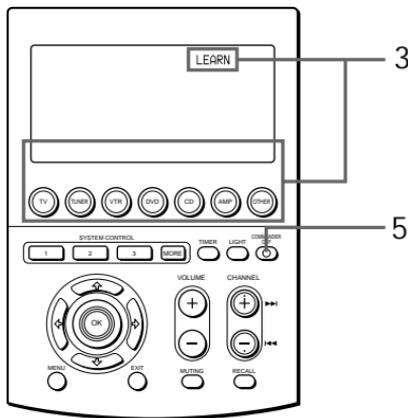
次のページへつづく

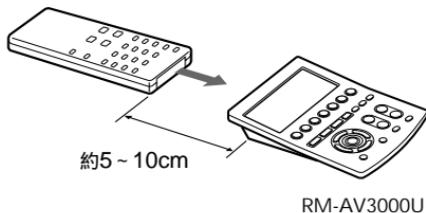
機器選択ボタン／ラベルキーの機能を拡張する（つづき）

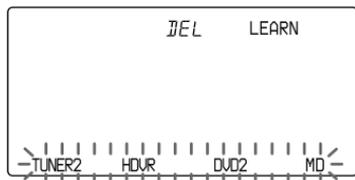
ご注意

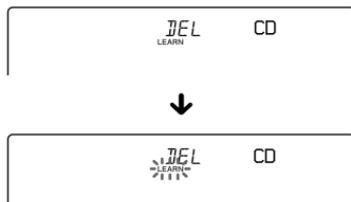
- ソニー以外のメーカー番号を設定している機器選択ボタン／ラベルキーには、電源オンのプログラム設定はできません。
- コンポーネントマクロ（41ページ）が登録されている機器選択ボタン／ラベルキーに、電源オンのプログラムも設定することができますが、操作時にはコンポーネントマクロが優先されるので、電源オンのプログラムは使えません。機器選択ボタン／ラベルキーからコンポーネントマクロを消去すれば（42ページ）、電源オンのプログラムが使えるようになります。
- 学習信号が登録されている機器選択ボタン／ラベルキーに電源オンのプログラムも設定することができます。この場合は、電源オンと学習信号が有効となります。
- すでに電源オンのプログラム設定をした機器選択ボタン／ラベルキーに学習機能やコンポーネントマクロの設定をすると、機器選択ボタン／ラベルキーを押したときに、設定されている電源オンのプログラムが働きます。

機器を選択したときの動作を追加する

機器選択ボタン／ラベルキーの本来の機器選択の動作の他に、学習機能を使って、お使いの機器のリモコン信号を機器選択ボタン／ラベルキーに記憶させることができます。機器選択に続いて必ず行う操作が自動的に行えるので手順をひとつ省略することができます。
例えば、CDを聞くときに必ずアンプの入力をCDに切り換える必要がある場合、CDボタンにアンプのCD入力切換の信号を記憶させます。CDボタンをひとつ押せば、自動的にアンプの入力切換がCDに切り換わります。（この場合、アンプの電源はあらかじめオンにしておく必要があります。）

例：お使いのアンプのCD入力切換のリモコン信号を本機のCDボタンに記憶させるには

1 本機RM-AV3000Uとお使いの機器（アンプ）のリモコンを向かい合わせにする。

2 23ページの手順2、3に従って操作し、学習機能の設定画面を表示させる。

モード表示キーに「LEARN」が表示される。

3 モード表示キー（LEARN）キーを押しながら、学習信号を記憶させたい機器選択ボタン／ラベルキーを押す（例：CD）。

ラベルキーに表示される機器の名称を切り換えるには、OTHERボタンを押します。
選んだ機器の名称がモード表示キーに表示され、「LEARN」が点滅します。

4「ピー」という音がするまで、お使いの機器（アンプ）のリモコンのボタンを押し続ける。

（「ピー」という音がするまで押し続けないと、学習信号が正しく設定されません。）

INPUT SELECT
CD

「LEARN」が点灯します。

「NG」が表示されたら

学習信号が正しく設定されませんでした。
もう一度手順3と4を行ってください。

次のページへつづく

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

機器選択ボタン／ラベルキーに学習させた信号を消去するには

1 23ページの手順2、3に従って操作し、学習機能の設定画面を表示させる。

2 DELキーを押しながら学習信号を消去したい機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

ご注意

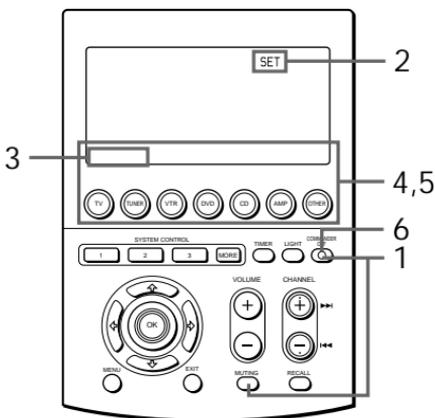
- 電源オンのプログラム（46ページ）が設定されている機器選択ボタン／ラベルキーにも学習信号を登録することができます。その場合は、電源オンのプログラムと学習信号が使えるようになります。
- 学習信号が登録されている機器選択ボタン／ラベルキーに、システムコントロール機能（33ページ）によるプログラムを登録することはできません。

機器選択ボタン／ラベルキーの表示と違う機器を設定する

機器選択ボタン／ラベルキーに他の機器の操作設定をコピーする

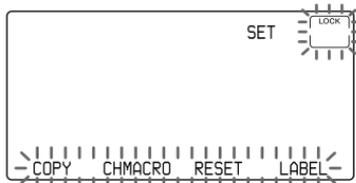
機器選択ボタン／ラベルキーに、他の機器選択ボタン／ラベルキーの操作設定をコピーすることができます。メーカー設定（14ページ）、チャンネルマクロ機能（62ページ）、学習機能（22ページ）および文字内容が他のボタン／ラベルキーにコピーされます。

ご注意

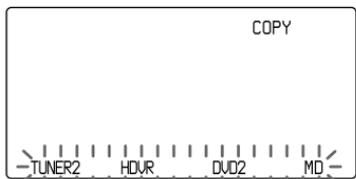
- 学習信号やチャンネルマクロ機能が登録されている機器選択ボタン／ラベルキーには、他の機器選択ボタン／ラベルキーの操作設定をコピーすることができません。（「NG」が点滅します。）
- 文字内容は、他の機器選択ボタン／ラベルキーに上書きされます。

例：DVDボタンの操作設定をVTRボタンへコピーするには

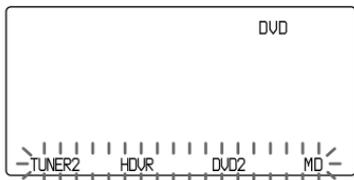
1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

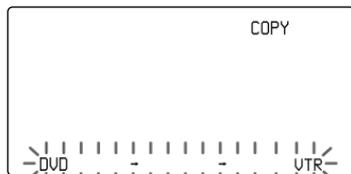
2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「COPY」を表示させる。

3 COPYキーを押す。

モード表示キーに「COPY」が表示されます。

次のページへつづく

機器選択ボタン／ラベルキーの表示と違う機器を設定する（つづき）

4 コピーしたい設定内容が登録されている機器選択ボタン／ラベルキーを押す。
（ラベルキーを切り換えるにはOTHERボタンを押します。）

選んだ機器の名称がモード表示キーに表示されます。

5 モード表示キー（例：DVD）を押しながら、コピー先の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。
（ラベルキーを切り換えるにはOTHERボタンを押します。）

モード表示キーに「COPY」が表示されます。

この例では、ラベルキーに「DVD ➔ ➔ VTR」が表示され、「ピー」という音とともにコピーが終了します。

6 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER
OFF

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

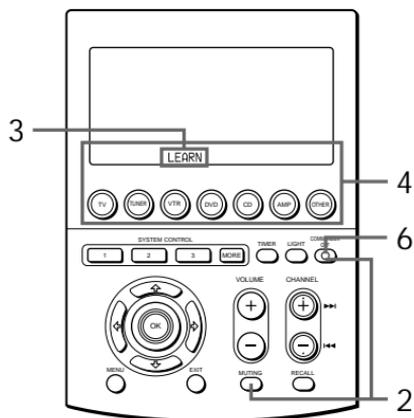
コピー先の機器選択ボタン／ラベルキーを工場出荷時の設定に戻すには

28ページの「ある機器の操作面に学習させた信号をすべて消去するには」の手順に従って操作してください。

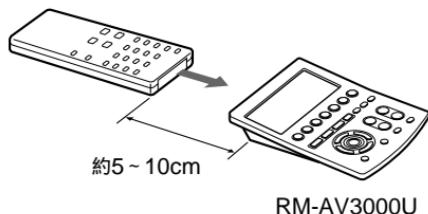
よく使うキー操作をSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに登録する

SYSTEM CONTROLボタン（1～3）およびラベルキー（SYSTEM4～15）の本来のシステムコントロール機能（33ページ）の他に、学習機能を使って、お使いの機器のリモコン信号をSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに記憶させることができます。
SYSTEM CONTROLボタン（1～3）は、いったん学習信号を記憶させておけば、押すだけで学習された設定内容が機能するので、機器を選ぶために機器選択ボタン／ラベルキーを押すなどの動作を省くことができ、ワンタッチで学習内容を動作させることができます。

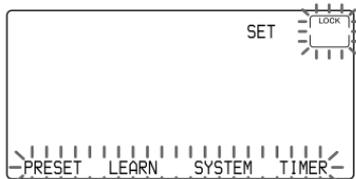
ご注意

学習できないリモコン信号もあります。お使いの機器の説明書に記載されているリモコンの説明をよくお読みください。

例：お使いのエアコンの電源オン／オフの信号を本機のSYSTEM CONTROL2ボタンに記憶させるには

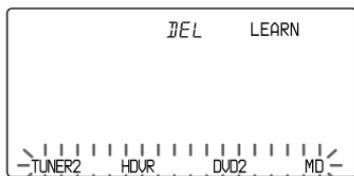
1 本機ＲM-AV3000Uとお使いのエアコンのリモコンを向かい合わせにする。

お使いのエアコンのリモコン

2 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

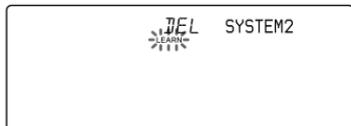
次のページへつづく

よく使うキー操作をSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに登録する（つづき）

3 LEARNキーを押す。

モード表示キーに「LEARN」が表示されます。

4 SYSTEM CONTROLボタン（例：2）を押す。

2

または、MOREボタンを押してSYSTEM(4〜15) ラベルキーを表示させ、リモコン信号を記憶させたいラベルキーを押します。ラベルキーを切り換えるにはMOREボタンを何回か押します。

選んだシステム番号がモード表示キーに表示されます。
「LEARN」が約10秒間点滅し、学習待機モードになります。

5「ピー」という音がするまで、お使いの機器（エアコン）のリモコンのボタンを押し続ける。

（「ピー」という音がするまで押し続けないと、学習信号が正しく設定されません。）

エアコン電源入／切

学習信号を受信している間、「LEARN」が点灯します。

「NG」が表示されたら

学習信号が正しく設定されませんでした。もう一度手順4と5を行ってください。

6 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFF

ご注意

システムコントロール機能が登録されているSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーには、学習機能によるリモコン信号の登録ができません。学習機能によるリモコン信号の登録をする場合は、まず、システムコントロール機能を消去してください（37ページ）。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに登録したリモコン信号を消去するには

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

2 LEARNキーを押す。
モード表示キーに「LEARN」が表示されます。

3 DELキーを押しながら、SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押す。
（SYSTEM(4～15) ラベルキーを表示させるにはMOREボタンを押します。ラベルキーを切り換えるにはMOREボタンを何回か押します。）
学習されたリモコン信号は消去されます。

4 COMMANDER OFFボタンを押す。

新しいリモコン信号をSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに学習させるには、54ページの手順4～6の操作を行います。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

エアコンの信号を学習させる場合のご注意

季節による違いについて

季節によりエアコンの設定や操作を変える必要がある場合は、そのたびに、本機にリモコン信号を学習しなおしてください。

エアコンの電源オン／オフがうまくできないときは

お使いのエアコンのリモコンではひとつのボタンで電源オン／オフができるのに、学習させた本機のボタン／キーでは電源オンまたは電源オフしかできない場合は、下記の手順で2つのボタンに学習しなおしてください。

1 エアコンの電源オン／オフを学習させたボタン／キーの学習内容をいったん消去する。
（左記の手順で、SYSTEM CONTROL2ボタンからリモコン信号を消去します。）

2 そのボタン／キー（例：SYSTEM CONTROL2）に、同じ手順でエアコンの電源オンのリモコン信号を学習させる。
（エアコンのリモコンの電源オン／オフボタンの信号を学習させます。）

3 続けて、別のボタン／キー（例：SYSTEM CONTROL3）にエアコンの電源オフのリモコン信号を学習させる。
（同じエアコンのリモコンの電源オン／オフボタンの信号を学習させます。）

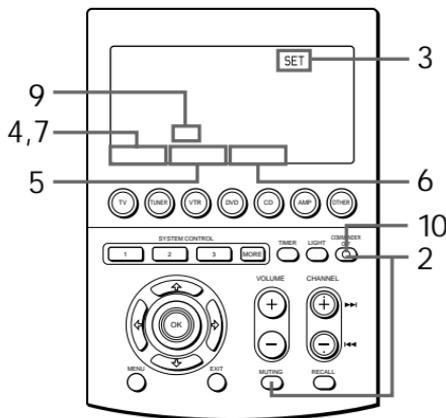
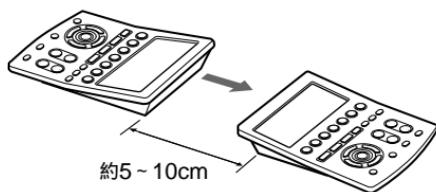
これで、本機の2つのボタン／キーにはそれぞれエアコンの電源オン（運転）の信号と、電源オフ（停止）の信号が記憶されるので、本機でエアコンの電源オン／オフを操作することができます。

2台のRM-AV3000U間でデータを転送する

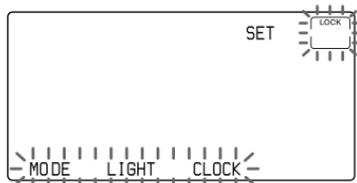
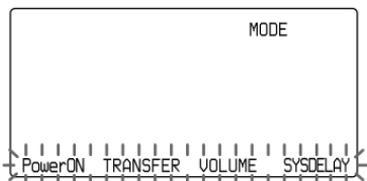
本機ともう1台のRM-AV3000Uとの間で、学習信号の操作設定およびメーカー設定のデータを転送することができます。

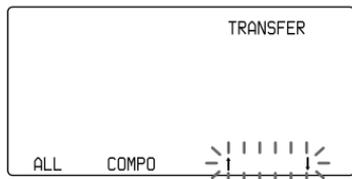
データを転送する

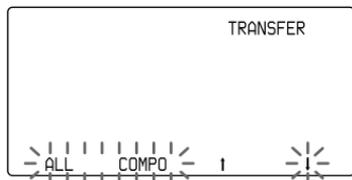
本機RM-AV3000Uのすべての、あるいはひとつの機器選択ボタン／ラベルキーに登録した学習信号の操作設定およびメーカー設定のデータをもう1台のRM-AV3000Uへ転送することができます。

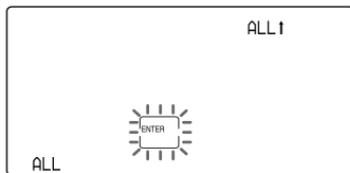
すべての機器選択ボタン／ラベルキーの設定内容を転送するには

1 本機ＲM-AV3000Uともう一台のＲM-AV3000Uを向かい合わせにする。

2 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

3 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させる。

4 MODEキーを押してモード表示キーに「MODE」を表示させる。

5 TRANSFERキーを押す。

モード表示キーに「TRANSFER」が表示されます。

6 ↑キーを押す。

↑：転送
↓：受信

7 ALLキーを押す。

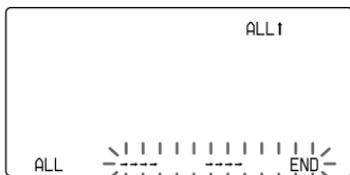
モード表示キーに「ALL↑」が表示され、一番左のラベルキーに「ALL」が表示されます。

8 受信側のRM-AV3000Uを受信できる状態にする。

（受信側のRM-AV3000Uを準備するには、60ページの手順1～4の操作をしてください。）

9 ENTERキーを押す。

データ転送中は「→→→→ →→→→」が点滅します。データの転送が終了すると、一番右のラベルキーに「END」が表示されます。

進んだ使いかた

次のページへつづく

2台のRM-AV3000U間でデータを転送する（つづき）

ご注意

データ転送中に「NG」が表示されたら、手順5から操作をやり直すか、COMMANDER OFFボタンを押して操作を中止してください。

10 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

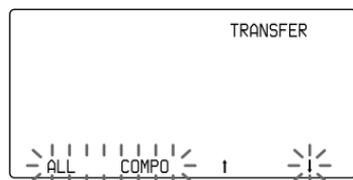
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

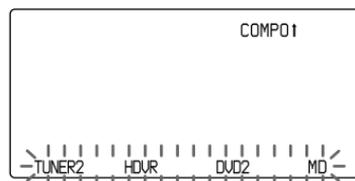
ご注意

受信側のRM-AV3000Uが受信できる状態であることを確認してください。

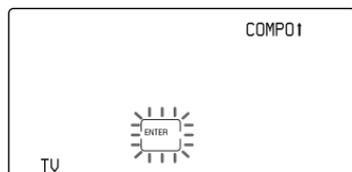
ひとつの機器選択ボタン／ラベルキーの設定内容を転送するには

本機のひとつの機器選択ボタン／ラベルキーに登録した学習信号の設定およびメーカー設定のデータをもう1台のRM-AV3000Uへ転送することができます。

1 56〜57ページの手順1〜6の操作をする。

2 COMPOキーを押す。

モード表示キーに「COMPO↑」が表示されます。

3 転送したいデータが設定されている機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

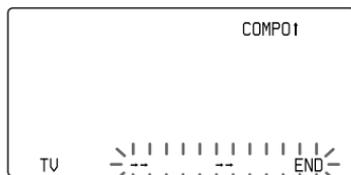
（ラベルキーを切り換えるには、OTHERキーを何回か押します。）

転送するデータが設定されている機器の名称が、一番左のラベルキーに表示されます。

4 受信側のRM-AV3000Uを受信できる状態にする。

（受信側のRM-AV3000Uを準備するには、61ページの手順1～4の操作をしてください。）

5 ENTERキーを押す。

データ転送中は「→→ →→」が点滅します。データの転送が終了すると、一番右のラベルキーに「END」が表示されます。

ご注意

データ転送中に「NG」が表示されたら、手順1から操作をやり直すか、COMMANDER OFFボタンを押して操作を中止してください。

6 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ご注意

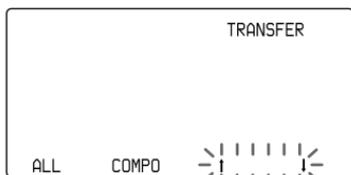
- 機器選択ボタン／ラベルキーに登録されたシステムコントロール機能は転送することができません。
- 受信側のRM-AV3000Uが受信できる状態であることを確認してください。

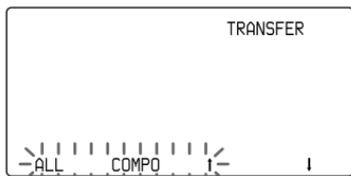
次のページへつづく

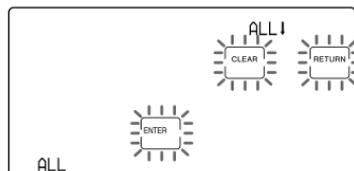
データを受信する

本機RM-AV3000Uは、もう1台のRM-AV3000Uからデータを受信することができます。

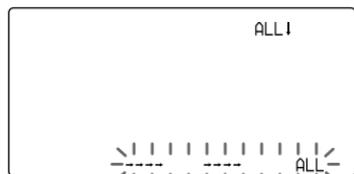
すべての機器選択ボタン／ラベルキーの設定内容を受信するには

1 56〜57ページの手順1〜5の操作をします。

2 ↓キーを押します。

↑：転送
↓：受信

3 ALLキーを押します。

モード表示キーに「ALL↓」が表示され、一番左のラベルキーに「ALL」が表示されます。

4 ENTERキーを押す。

ENTERキーを押してから10秒以内に転送側のRM-AV3000Uを転送状態にする（57ページの手順9の操作をする）と、データ受信を開始します。データ受信中は「→→→→　→→→→」が点滅します。データの受信が終了すると、一番右のラベルキーに「ALL」が表示されます。

ご注意

- 本機がデータを受信できる状態になっていない場合、CLEARキーを押してからRETURNキーを押して、すべての機器選択ボタン／ラベルキーに記憶された学習信号を消去してください。
- データ受信中に「NG」が表示されたら、手順3から操作をやり直すか、COMMANDER OFFボタンを押して操作を中止してください。操作をやり直して続ける場合、データを送信する側のRM-AV3000Uの転送の設定をし直してください。

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

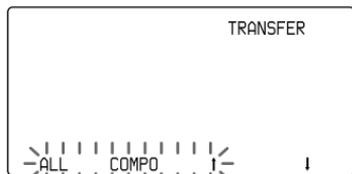
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

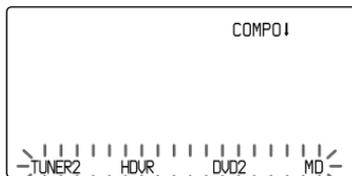
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

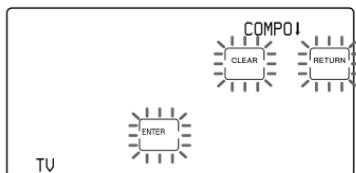
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ひとつの機器選択ボタン／ラベルキーの設定内容を受信するには

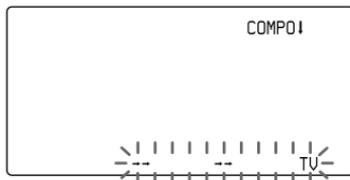
1 60ページの手順1、2の操作をする。

2 COMPOキーを押す。

モード表示キーに「COMPO↓」が表示されます。

3 データを設定したい機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

（ラベルキーを切り換えるには、OTHERキーを何回か押します。）

選んだ機器の名称が、一番左のラベルキーに表示されます。

4 ENTERキーを押す。

ENTERキーを押してから10秒以内に転送側のRM-AV3000Uを転送状態にする（59ページの手順5の操作をする）と、データ受信を開始します。データ受信中は「➔➔ ➔➔」が点滅します。データの受信が終了すると、一番右のラベルキーに選んだ機器の名称が表示されます。

次のページへつづく

2台のRM-AV3000U間でデータを転送する（つづき）

ご注意

- 本機がデータを受信できる状態になっていない場合、CLEARキーを押してからRETURNキーを押して、ひとつまたはすべての機器選択ボタン／ラベルキーに記憶された学習信号を消去してください。
- データ受信中に「NG」が表示されたら、手順3から操作をやり直すか、COMMANDER OFFボタンを押して操作を中止してください。操作をやり直して続ける場合、データを送信する側のRM-AV3000Uの転送の設定をし直してください。

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

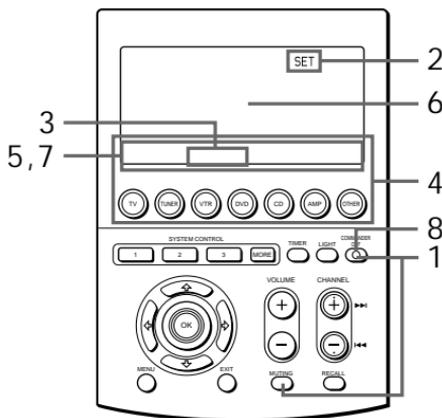
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ワンタッチで選局する

—チャンネルマクロ機能—

4桁のメーカー番号（付属の「メーカー番号一覧表」参照）の最初の数字が3（TUNER）と8*（TV）の機器は、チャンネルマクロ機能を使ってチャンネルマクロキー（ラベルキー）にチャンネルを登録することができます。

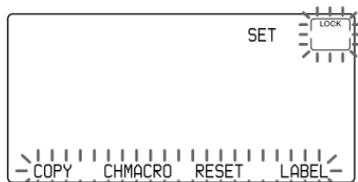
例えば、いったんチャンネルマクロキーに、123チャンネルを「1」、「2」、「3」、「ENTER」と登録しておけば、次からは機器の操作面でチャンネルマクロキーを押すだけで選局することができます。

* テレビに関しては、メーカー番号の最初の2桁が「82」の機器にのみチャンネルマクロ機能が設定できます。

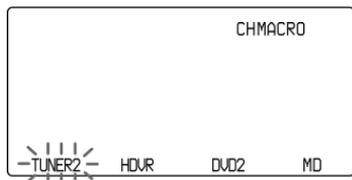
例：チューナーの123チャンネルをラジオキーに登録するには

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

押しながら

モード表示キーに「SET」が表示されます。

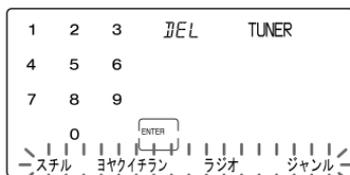
2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「CHMACRO」を表示させる。

3 CHMACROキーを押す。

モード表示キーに「CHMACRO」が表示されます。

チャンネルマクロ機能を登録することができる機器選択ラベルキーが点滅します。ラベルキーを切り換えるにはOTHERボタンを押します。

4 機器選択ボタン／ラベルキーを押して機器を選ぶ。

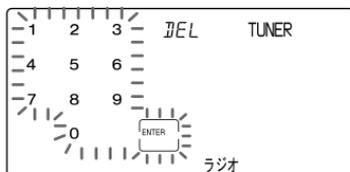
（ラベルキーを切り換えるにはOTHERボタンを押します。）

選んだ機器の名称（例：TUNER）がモード表示キーに表示されます。

チャンネルマクロキー（ラベルキー）が点滅します。チャンネルマクロキーを切り換えるにはモード表示キー（例：TUNER）を何回か押します。

チャンネルマクロ機能を登録することができない機器を選ぶと

「NG」が2回点滅し、NG音が鳴ります。

5 ラベルキーを押してチャンネルマクロキー（例：ラジオ）を選ぶ。

選んだラベルキーが点灯し、チャンネルマクロ登録に有効なキーを点滅します。

次のページへつづく

ワンタッチで選局する—チャンネルマクロ機能—（つづき）

チャンネルマクロ機能を登録することができないラベルキーを選ぶと
「NG」が2回点滅し、NG音が鳴ります。

6 キーを順番に押す（例:1→2→3→ENTER）

ご注意
5つより多くの数字を押すと、最後に押した5つの数字がチャンネルマクロキーに登録されます。

7 チャンネルマクロキー（例：ラジオ）を押す。

ラジオ

「1」、「2」、「3」、「ENTER」が2回表示されます。

8 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFF

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ご注意
- 学習信号が登録されているチャンネルマクロキー（ラベルキー）にはチャンネルマクロ機能を登録することはできません。他のチャンネルマクロキーを選ぶか、学習信号を消去（28ページ）してからチャンネルマクロ機能を登録してください。
- チャンネルマクロは、数桁のチャンネル選局の手順を、ある一定の間隔で信号出力する機能です。そのため、ご使用の機種によってはうまく操作できない場合があります。

チャンネルマクロキーの表示を変更するには

63ページの手順4のあと、チャンネルマクロキー（ラベルキー）を2秒以上押し続けます。ラベルキーは文字入力ができるモードになります。111ページの手順に従って文字を入力してください。

チャンネルマクロ機能を消去するには

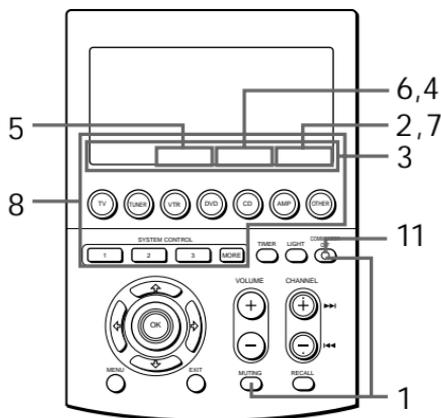
1. COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。
2. SETキーを1回押す。
3. CHMACROキーを押す。
4. 機器選択ボタン／ラベルキーを押して機器を選ぶ。
5. DELキーを押しながらチャンネルマクロキー（ラベルキー）を押す。

ご注意
上記の操作をもう一度行うと、入力した文字情報を消去することができます。

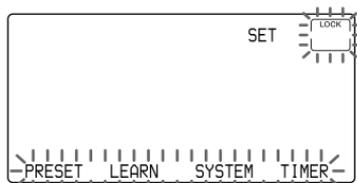
タイマーを設定する

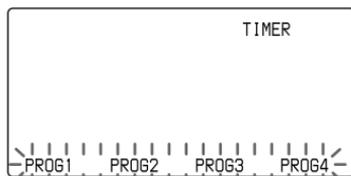
タイマー機能を使って、最大12個のタイマープログラムにタイマーの働く曜日、時刻、実行するプログラムの内容（タイマーマクロ）を設定することができます。

タイマープログラムの設定には、次の2通りの方法があります。
- 新しいタイマープログラムを設定する
- 設定したプログラムや呼び出したプログラムを変更する（70ページ）

新しいタイマープログラムを設定する

例：PROG4キーに土曜日の午前7：30にタイマーが作動するように設定するには

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

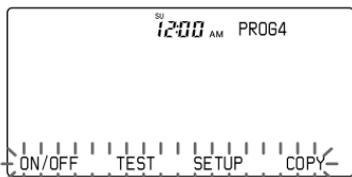
モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 TIMERキーを押す。

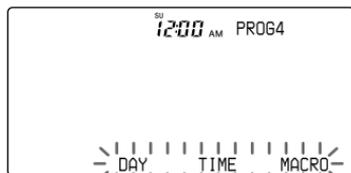
モード表示キーに「TIMER」が表示されます。

ラベルキーにプログラム番号が表示されます。
プログラム番号（PROG1～12）を切り換えるには、TIMERボタンを何回か押します。
タイマーが実行されるように（待機状態）設定されたプログラム番号は点灯します。
タイマーが実行されないように設定されたプログラム番号とタイマープログラムを登録していないプログラム番号は点滅します。

進んだ使いかた

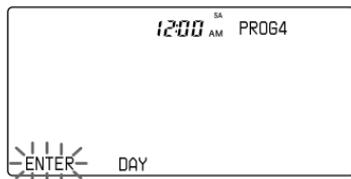
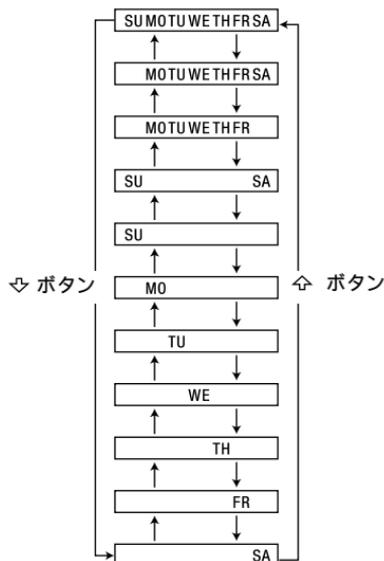
次のページへつづく

3 ラベルキーを押してプログラム番号を選ぶ。

選んだプログラム番号がモード表示キーに表示されます。
（プログラム番号の表示をラベルの書き換えによって変更してある場合は、入力した文字が表示されます。）

時計表示キーには「SU」（日曜日）と「12：00 AM」が表示されます。
この設定操作で、タイマーが作動する曜日、時刻が設定されている場合、または、すでに設定したプログラムを呼び出して変更しようとしている場合は（70ページ）、時計表示キーには設定された内容が表示されます。

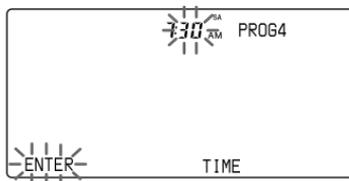
4 SETUPキーを押す。

「DAY」選択：手順5へ
「TIME」選択：手順6へ
「MACRO」選択：手順7へ

5 DAYキーを押す。

⇧または⇩ボタンを押してタイマーが作動する曜日を設定します。

⇧または⇩ボタンを押すたびに、曜日の表示が次のように変わります。

SU ：日曜日
MO ：月曜日
TU ：火曜日
WE ：水曜日
TH ：木曜日
FR ：金曜日
SA ：土曜日

曜日を選んだら、ENTERキーを押して決定します。
画面は手順4に戻ります。

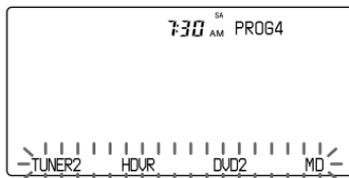
6 TIMEキーを押す。

⇧または⇩ボタンを押して「時」およびAM/PMを選び、⇨ボタンを押して決定します（11ページの手順2参照）。「分」の数字が点滅します。
（⇦または⇨ボタンを交互に押すと、「時」設定モードと「分」設定モードを切り換えることができます。）

⇧または⇩ボタンを押して「分」を選び（12ページの手順3参照）、ENTERキーを押して決定します。
タイマーが作動する時刻が決定し、画面は手順4に戻ります。

7 MACROキーを押す。

タイマープログラムの内容（タイマーマクロ）を設定するモードになります。

進んだ使いかた

次のページへつづく

8 タイマーマクロに動作を登録する機器選択ボタン／ラベルキーまたはSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押す。

機器選択ラベルキーの表示を切り換えるにはOTHERボタンを押します。SYSTEMラベルキーを表示させたり切り換えたりするにはMOREボタンを押します。

機器選択ボタン／ラベルキーを押した場合

選んだ機器の操作画面が表示されます。手順9へ進んでください。

SYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーを押した場合

手順10へ進んでください。

コンポーネントマクロを登録するには

機器選択ボタン／ラベルキーを1秒以上押し続けます。その後手順10へ進んでください。

9 選んだ機器の操作ボタン／キーを押して、ボタン／キーの機能を操作ステップとして登録する。

10 手順8と9を繰り返す。

32個の操作ステップが登録されると、「ピー」という音とともに登録が終了し、タイマーマクロに登録された操作が順に画面に表示された後、画面は手順3に戻ります。

ご注意

- ひとつのプログラム番号には最大32個の操作ステップを登録することができます。
- ひとつのSYSTEM CONTROLボタン／ラベルキーに記憶させたシステムマクロは、タイマーマクロのひとつのステップとして登録されます。
- ひとつの機器選択ボタン／ラベルキーに記憶させたコンポーネントマクロはタイマーマクロのひとつの操作ステップとして登録されます。
- TIMERボタンを押すと、250msの間隔を挿入することができます。
- モード表示キー、OTHERボタン、LIGHTボタン、およびMOREボタンは、操作ステップとしては数えられません。

11 操作ステップの登録を終了するには、COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER
OFF

「ピー」という音とともに登録が終了し、タイマーマクロに登録された操作が順に画面に表示された後、画面は手順3に戻ります。

画面にはない操作ボタンを登録すると

一番右のラベルキーにボタンの名称（VOLUME＋/－、MUTING、CHANNEL＋/－、RECALL 、MENU、OK、EXIT、⇧、⇩、⇦ および⇨）が表示されます。

プログラムの動作を確認したり、タイマーを実行待機状態にするには

71ページをご覧ください。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

タイマー設定が決定され、本機の画面表示が消えます。その場合、タイマープログラムは実行待機状態にはなりません。

モード表示キーのプログラム番号の表示を変更するには

タイマー設定を行っているときに、モード表示キーに文字を入力して、お好みの名称を表示させることができます（最大8文字）。66ページの手順3のあと、モード表示キー（例：PROG4）を2秒以上押し続けるとモード表示キーが入力可能な状態になります。111ページの手順に従って文字を入力してください。
CLEARキーを押すと文字の入力をはじめる前の表示に戻ります。

タイマーマクロに登録された操作ステップの間隔を変更するには

43ページをご覧ください。

ご注意

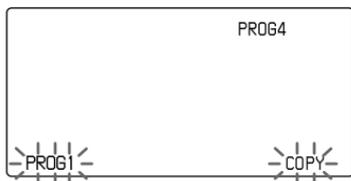
- ひとつのタイマープログラムにはひとつのマクロのみ設定することができます。ある時刻に機器の電源オンの設定をして、またある時刻に電源オフの設定をしたい場合は、別々に2つのタイマー設定を行ってください。
- 同じ時刻に実行されるいくつかのタイマープログラムが設定された場合、プログラム番号の小さい順に動作が開始されます。
- タイマー設定で操作された機器の状態によっては、次に設定されたタイマープログラムでは、機器がうまく動作しない場合があります。タイマー設定をする場合は、他のタイマープログラムの設定内容に注意して設定してください。
- タイマープログラムの実行内容により、本機のリモコン信号出力の実行時間が異なるため、タイマー設定した時刻には実行されないプログラムもあります。
  また、タイマープログラムの実行中に、もうひとつのタイマープログラムの実行時刻になった場合、先に実行中のプログラムが終了してから、もうひとつのタイマープログラムが開始されます。その場合も、プログラムはタイマー設定した時刻には実行されません。
  そのため、プログラム内容とタイマー実行時間の長さを考えてタイマー設定をするようにしてください。

次のページへつづく

設定したプログラムや呼び出したプログラムを変更する

1 65〜66ページの手順1〜3の操作をする。

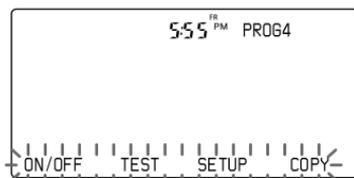
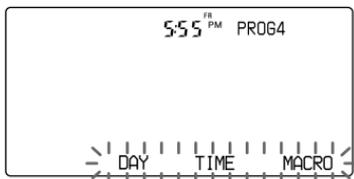
2 COPYキーを押す。

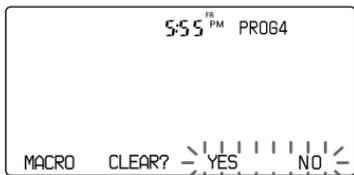
モード表示キーに表示されているプログラム番号（例：PROG4）にすでに設定した内容を変更したい場合は、COPYキーを押さずに手順6へ進んでください。

一番左のラベルキーにプログラム番号が表示され、一番右のラベルキーに「COPY」が表示されます。

3 COPYキーを何回か押して、設定内容を変更したいプログラム番号を表示させる。

COPYキーを押すたびに、タイマープログラムを設定したプログラム番号が順に表示されます。

4 設定内容を変更したいプログラム表示になったら、そのラベルキーを押す。

「ピー」という音とともに、選んだプログラム番号（例：PROG1）に設定されている内容が、モード表示キーに表示されているプログラム番号（例：PROG4）にコピーされます。
時計表示キーにはコピーされたタイマー設定時刻、曜日が表示されます。

5 SETUPキーを押す。

6 設定内容を変更したい項目のキーを押す。

DAY（曜日）：66ページの手順5参照
TIME（時刻）：67ページの手順6参照
MACRO（タイマーマクロ）：表示は次のようになります。

7 YESキーを押す。

「ピー」という音とともに、設定されていたタイマーマクロが消去され、本機はタイマーマクロを設定するモードになります（67ページの手順7参照）。

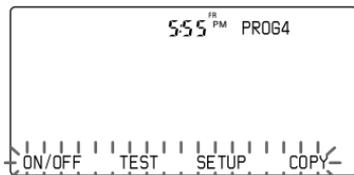
NOキーを押すと

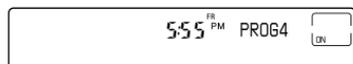
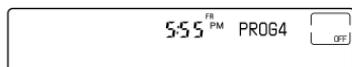
画面は手順5に戻ります。

ちょっと一言

タイマーマクロの内容は部分的に変更することはできません。よく使う操作手順を消さずにプログラムを変更したい場合は、システムコントロール機能（33ページ）を使います。
例えば、5個の操作ステップをタイマーマクロに設定したいときに、1番目から4番目の操作ステップはよく使う操作手順である場合、まず、1番目から4番目の操作ステップをシステムコントロール機能を使って、システムマクロに登録します。次に、そのシステムマクロと5番目の操作ステップを順にタイマーマクロに設定します。

プログラムの動作を確認したりタイマーが実行されるように（待機状態）設定するには

1 65～66ページの手順1～3の操作をする。

2 TESTキーまたはON/OFFキーを押す。

TEST：実際にタイマーマクロに登録された信号が送信され、プログラムの動作を確認することができます。
ON/OFF：表示は次のようになります。

「ピー」という音とともに、「ON」が表示され、タイマーが実行されるようになり（タイマー待機状態）、画面は65ページの手順2に戻ります。
タイマー待機状態を解除して、タイマーが実行されないようにするには、もう一度ON/OFFキーを押します。「OFF」が表示されます。

3 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

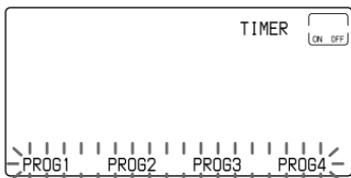
本機の画面表示が消えます。

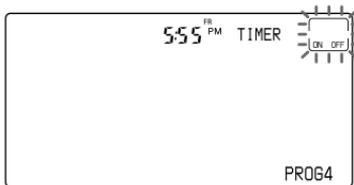
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

次のページへつづく

簡単にタイマー待機状態のオン／オフを設定するには

1 TIMERボタンを押す。

タイマー待機状態になっているプログラム番号は点灯し、その他のプログラム番号は点滅します。
ラベルキーのプログラム番号を切り換えるには、TIMERボタンを何回か押します。

2 待機状態にしたいプログラム番号のラベルキーを押す。

タイマープログラムが設定されていないプログラム番号を選んだ場合は、「NG」が2回点滅し、NG音が鳴ります。

3 ON OFFキーを押す。

「ピー」という音とともに、◷が表示され、選んだプログラムはタイマー待機状態になります。画面は手順1に戻ります。

4 COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けて、画面表示を消します。

プログラムのタイマー待機状態を解除するには

もう一度手順1〜3を行ってください。

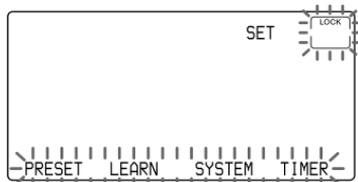
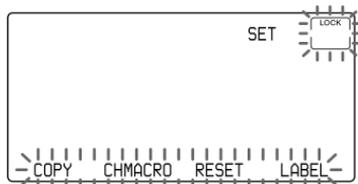
ご注意

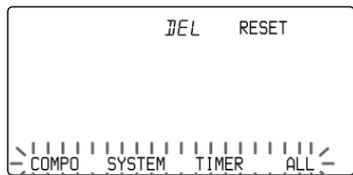
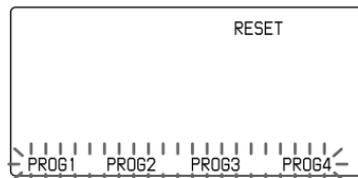
- タイマープログラムが設定されていないプログラム番号が選択されているときにTESTキーまたはON/OFFキーを押すと、「NG」が2回点滅し、NG音が鳴ります。
- タイマー待機状態の設定をしてから、タイマー設定の画面を終了すると、時計表示キーに◷が表示されます。これはタイマー待機状態のプログラムであることを意味します。
- 本機のタイマー機能は、待機状態を解除しない限り同じ曜日に毎週実行される週間タイマーです。タイマーを一度だけ実行したい場合は、タイマーが実行されたら、待機状態を解除してください。

⚠警告

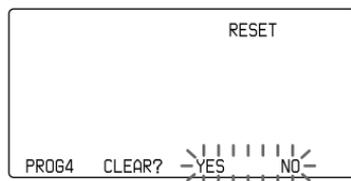
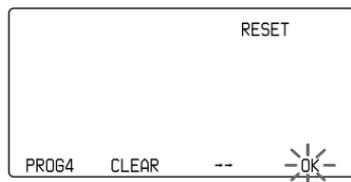
本機のタイマー機能は、AV機器の操作用に設計されています。タイマー機能を冷暖房機器または電気器具などのAV機器以外の機器にお使いにならないでください。火災や大けがなどの原因となります。

PROGラベルキーに登録したタイマー設定を消去するには

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「RESET」を表示させる。

3 RESETキーを押す。

モード表示キーに「RESET」が表示されます。

4 TIMER キーを押す。

ラベルキーにプログラム番号が表示されます。プログラム番号を切り換えるには、TIMERボタンを何回か押します。

5 プログラムを消去したいプログラム番号の表示されたラベルキー（PROG1～12）を押す。

一番左のラベルキーに選んだプログラム番号が表示されます。

6 YESキーを押す。

消去の間、「➔ ➔」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。

NOキーを押すと

画面は手順4に戻ります。

進んだ使いかた

次のページへつづく

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER
OFF

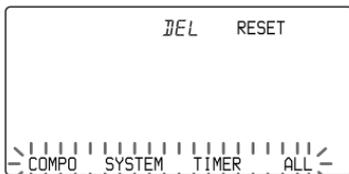
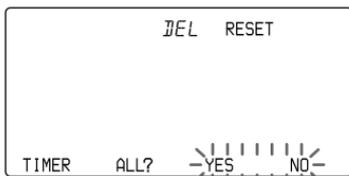
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

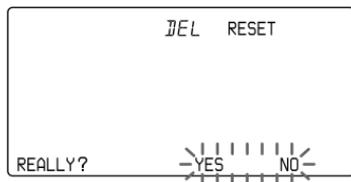
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

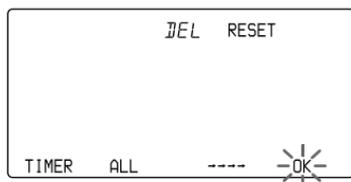
すべてのPROGラベルキーに登録したタイマー設定を消去するには

1 73ページの手順1〜3の操作をする。

2 DELキーを押しながらラベルキーに表示されたTIMERキーを押す。

3 YESキーを押す。

「REALLY?」が点灯し、「YES」と「NO」が点滅します。

NOキーを押すと

画面は手順1に戻ります。

4 YESキーを押す。

消去の間、「➔ ➔ ➔ ➔」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。

NOキーを押すと

画面は手順1に戻ります。

5 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

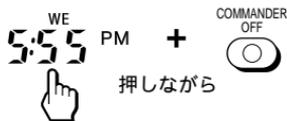
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

リモコンをロックする

—ホールド機能 —

誤操作を防ぐために、すべてのボタンをロックすることができます。リモコンがロックされていても、設定されたタイマー機能は働きます。

1 時計表示キーを押しながら、COMMANDER OFFボタンを押す。

「ピー」という音とともにモード表示キーに「LOCK」が表示され、時計と「LOCK」以外の表示は消えます。

WE
5:55 PM LOCK

1秒後にすべての画面表示が消えます。

ホールド機能が働いていると

リモコンのボタンを押すとNG音が2回鳴り、「LOCK」、時計、および◷（タイマーが待機状態のとき）が1秒間表示されます。

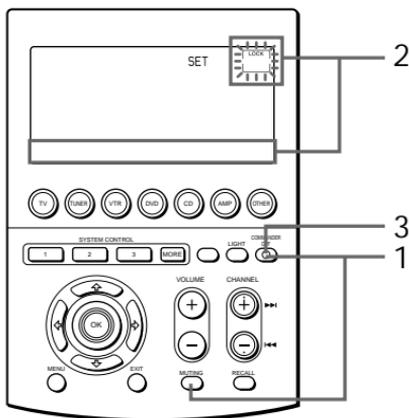
ホールド機能を解除するには

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けます。

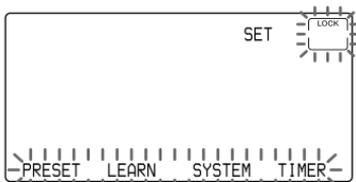
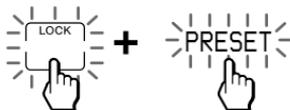
キータッチ音とともに画面はホールド機能が働く前の状態に戻ります。

各設定をロックする

—設定ロック機能—

誤って設定を変更、追加あるいは消去してしまうことを防ぐため、各設定ごとにロックすることができます。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

押しながら

モード表示キーに「SET」が表示されます。「LOCK」と各設定の名称が点滅します。

2 LOCKキーを押しながら、ロックしたい設定の名称が表示されているラベルキーを押す。（ラベルキーを切り換えるにはモード表示キー（SET）を押します。）

選んだ設定はロックされます。
ロックされた設定の名称は点灯します。

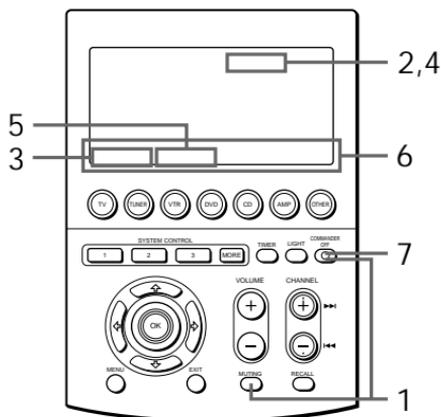
ほかの設定をロックするには
手順2を繰り返します。

3 COMMANDER OFFボタンを押す。

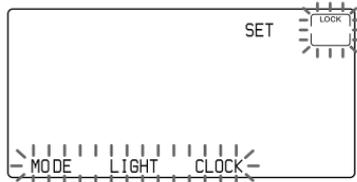
設定がロックされていると
設定の名称が表示されているラベルキーを押して設定画面を表示させようとしても、「NG」が点滅しNG音が2回鳴ります。

設定のロックを解除するには
手順1の操作をしてから、LOCKキーを押しながら、ロックを解除したい設定の名称が表示されているラベルキーを押します。（ラベルキーを切り換えるにはモード表示キー（SET）を押します。）
設定のロックが解除されると、設定の名称は点滅します。

画面のオートオフ設定をする

本機は工場出荷時には、10分間操作しないと自動的に液晶画面の表示がすべて消えるように設定されています（画面のオートオフ機能）。この設定は変更することができます。
画面のオートオフ時間は、1～30分の間で1分ずつ変更することができます。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

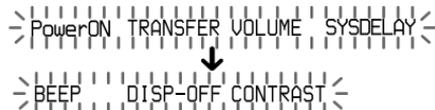
モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させます。

3 MODEキーを押す。

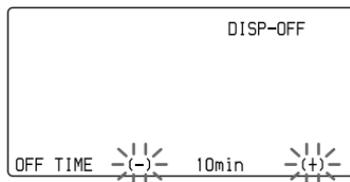
モード表示キーに「MODE」が表示されます。

4 モード表示キー（MODE）を1回押してラベルキーに「DISP-OFF」を表示させます。

MODEキー押すたびに、ラベルキーは次のように切り換わります。

PowerON TRANSFER VOLUME SYSDELAY
↓
BEEP DISP-OFF CONTRAST

5 DISP-OFFキーを押す。

モード表示キーに「DISP-OFF」が表示されます。

次のページへつづく

6（＋）または（－）キーを押して画面のオートオフ時間を変更する。

1～30分の間で1min（分）ずつ変更することができます。
（＋）キーを押すたびに画面のオートオフ時間は1min（分）ずつ増えます。
（－）キーを押すたびに画面のオートオフ時間は1min（分）ずつ減ります。

ご注意
画面のオートオフ時間を工場出荷状態の10分より長く設定した場合、電池が早く消耗する場合があります。

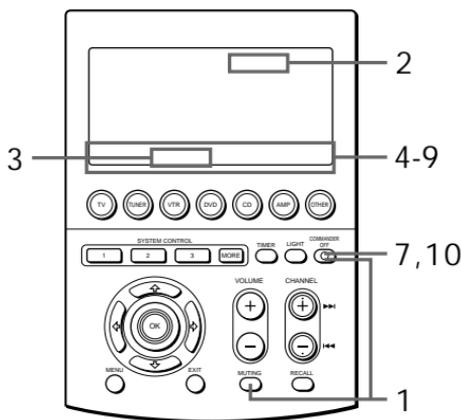
7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER
OFF

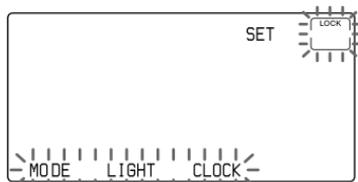
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると
本機の画面表示が消えます。

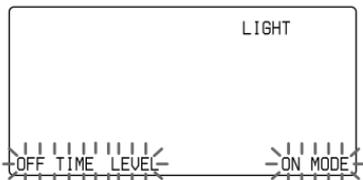
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと
本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

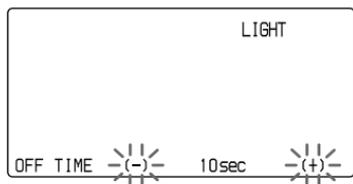
画面のバックライトを調整する

本機の液晶画面は、工場出荷時には10秒間操作しないと自動的にバックライトが消灯するように設定されています（バックライトのオートオフ機能）。この設定は変更することができます。バックライトのオートオフ時間は、1～60秒の間で1秒ずつ変更することができます。また、バックライトの明暗レベルも調整することができます。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「LIGHT」を表示させます。

3 LIGHTキーを押す。

モード表示キーに「LIGHT」が表示されます。

4 OFF TIMEキーを押す。

画面はバックライトのオートオフ時間の設定モードになります。

5 （＋）または（－）キーを押してバックライトのオートオフ時間を変更し、COMMANDER OFFボタンを押して決定する。

画面は手順3に戻ります。

バックライトのオートオフ時間は1～60秒の間で1sec（秒）ずつ変更することができます。

（＋）キーを押すたびにバックライトのオートオフ時間は1sec（秒）ずつ増えます。

（－）キーを押すたびにバックライトのオートオフ時間は1 sec（秒）ずつ減ります。

ご注意

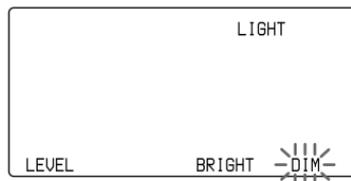
バックライトのオートオフ時間を工場出荷状態の10秒より長く設定した場合、電池が早く消耗する場合があります。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

バックライトのオートオフ時間が決定され、本機の画面表示が消えます。

6 LEVELキーを押す。

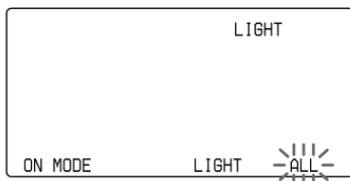
画面はバックライトの明暗レベルの設定モードになります。現在の設定の表示（「BRIGHT」または「DIM」）が点灯し、設定されていないほうは点滅します。

次のページへつづく

7 BRIGHTキーまたはDIMキーを押してバックライトの明暗レベルを選び、COMMANDER OFFボタンを押して決定する。

画面は手順3に戻ります。

BRIGHT： 明るい
DIM： ほの暗い

8 ON MODEキーを押す。

画面はバックライトを点灯させるボタンを設定するモードになります。現在の設定の表示（「LIGHT」または「ALL」）が点灯し、設定されていないほうは点滅します。

9 LIGHTキーまたはALLキーを押してバックライトを点灯させるボタンを設定する。

ここでCOMMANDER OFFボタンを押すと画面は手順3に戻ります。

LIGHT: LIGHTボタンを押したときのみ、画面のバックライトが点灯する。
ALL: VOLUME＋/−、MUTING、CHANNEL＋/−、RECALL、およびCOMMANDER OFFボタン以外のいずれかのボタンを押すとバックライトが点灯する。

「LIGHT」、「ALL」どちらの設定でお使いの場合も、バックライトを消灯させるにはLIGHTボタンを押します。

ご注意

頻繁に「ALL」の設定でお使いになると、電池の消耗が早くなる場合があります。その場合は、画面やバックライトのオートオフ時間（77、78ページ）を短くしてお使いください。

10 COMMANDER OFFボタンを押す。

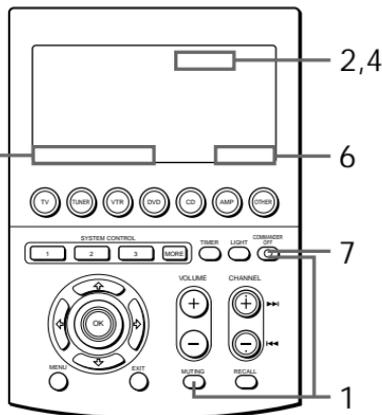
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

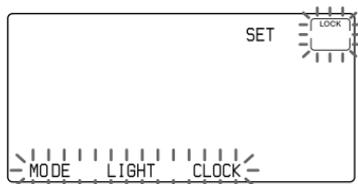
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

キータッチ音の設定をする

本機は工場出荷時には、ボタン／キーを押すとタッチ音が鳴るように設定されていますが、この音を消すこともできます。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

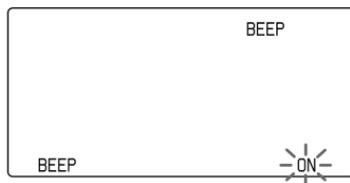
モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させる。

3 MODEキーを押す。

モード表示キーに「MODE」が表示されます。

4 MODEキーを1回押してラベルキーに「BEEP」を表示させる。

5 BEEPキーを押す。

モード表示キーに「BEEP」が表示されます。

6 ON（またはOFF）キーを押す。

ON（またはOFF）キーを押すたびに、「ピ ー」という音とともに「ON」と「OFF」の間で表示が切り換わります。現在設定されている表示が点滅します。

「ON」の点滅: キータッチ音を鳴らす。
「OFF」の点滅: キータッチ音を鳴らさない。

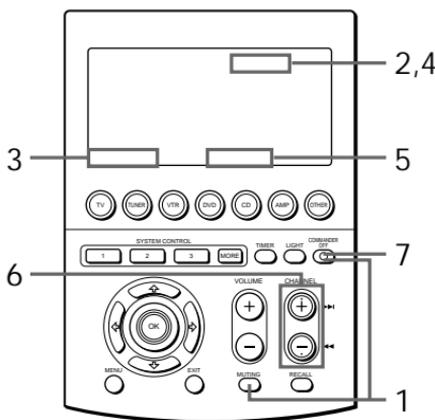
7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

画面のコントラストを調整する

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を2回押してラベルキーに「MODE」を表示させる。

3 MODEキーを押す。

モード表示キーに「MODE」が表示されます。

4 MODEキーを1回押してラベルキーに「CONTRAST」を表示させる。

5 CONTRASTキーを押す。

モード表示キーに「CONTRAST」が、各ラベルキーに「＊＊＊＊」が表示されます。画面の他の部分にはDVDレコーダー／プレーヤーの操作画面が表示されます。

6 CHANNEL＋またはCHANNEL－ボタンを押して画面のコントラスト（濃さ）を調整する。

CHANNEL＋またはCHANNEL－ボタンを押すたびに画面のコントラストは次のように変わります。

CHANNEL＋：　現在の設定よりも濃くなる

CHANNEL－：　現在の設定よりも薄くなる

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

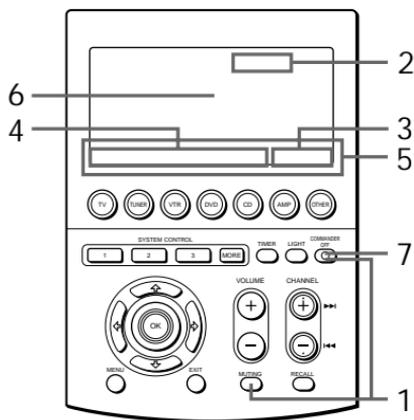
COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

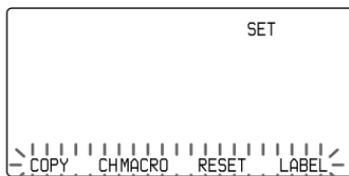
COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

ラベルキーやモード表示キーの表示を変更する

モード表示キーの機器の名称、機器選択ラベルキー、各機器の操作面のラベルキー、システムマクロのラベルキー（SYSTEM4〜15）およびタイマーマクロのラベルキー（PROG1〜12）の表示の変更ができます。それぞれ最大8文字まで（アルファベット、数字、記号、カタカナ）入力して、お好みの名称を表示させることができます。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

モード表示キーに「SET」が表示されます。

2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「LABEL」を表示させる。

3 LABELキーを押す。

モード表示キーに「LABEL」が表示され、本機はラベル入力設定モードになります。

次のページへつづく

4 COMPO、SYSTEMまたはTIMERキーを押して、変更したいラベルキーの種類を選ぶ。

COMPO： ラベルキーに機器の名称が表示される。ラベルキーを切り換えるにはOTHERボタンを何回か押す。画面表示の名称を変更したい機器の機器選択ボタン／ラベルキーを押す。

モード表示キーの機器の名称を変更するには

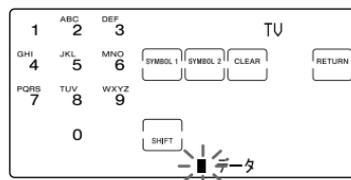
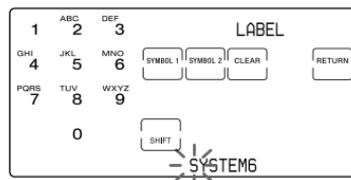
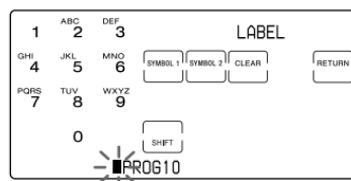
機器の名称が表示されているモード表示キーを2秒以上長く押します。機器の名称の表示を変更するモードになります。111ページの手順に従って文字を入力してください。

SYSTEM： ラベルキーにシステムマクロのシステム番号が表示される。ラベルキー（SYSTEM4～15）を切り換えるには、MOREボタンを何回か押す。

TIMER： ラベルキーにタイマーマクロのプログラム番号が表示される。ラベルキー（PROG1～12）を切り換えるには、TIMERボタンを何回か押す。

5 表示を変更したいラベルキーを押す。

ラベルキーが入力可能な状態になります。

COMPO（例：TV - データ）

SYSTEM（例：SYSTEM6）

TIMER（例：PROG10）

6 111ページの手順に従って文字を入力する。

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

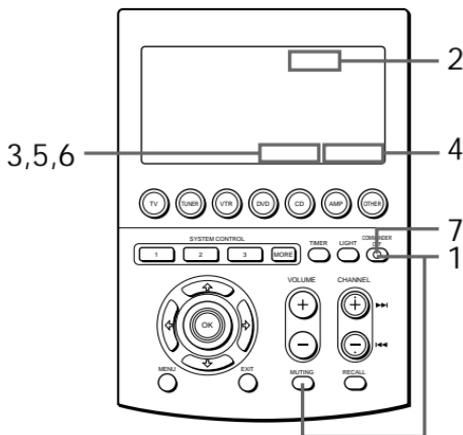
本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

すべての設定内容を消去する

—工場出荷状態に戻す—

すべての設定内容や学習機能によって記憶されたリモコン信号を消去し、本機を工場出荷時状態に戻すことができます。

1 COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押す。

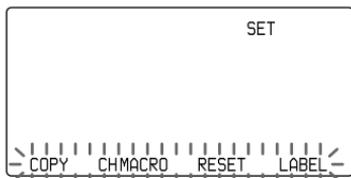
押しながら

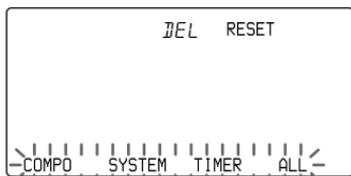
モード表示キーに「SET」が表示されます。

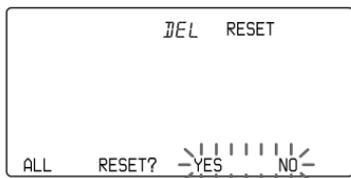
その他の機能

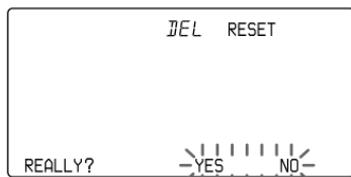
次のページへつづく

すべての設定内容を消去する —工場出荷状態に戻す—（つづき）

2 モード表示キー（SET）を1回押してラベルキーに「RESET」を表示させる。

3 RESETキーを押す。

モード表示キーに「RESET」が表示されます。

4 ALLボタンを押す。

「ALL RESET?」が点灯し、「YES」と「NO」が点滅します。

5 YESキーを押す。

「REALLY?」が点灯し、「YES」と「NO」が点滅します。

NOキーを押すと

画面は手順3に戻ります。

6 YESキーを押す。

消去の間、「ALL ➔➔➔➔　➔➔➔➔」が点灯します。消去が完了すると「ピー」という音とともに「OK」が表示されます。本機は工場出荷時状態に戻ります。

NOキーを押すと

画面は手順3に戻ります。

7 COMMANDER OFFボタンを押す。

COMMANDER OFFボタンを2秒以上押し続けると

本機の画面表示が消えます。

COMMANDER OFFボタンを2秒より短く押すと

本機の画面はひとつ前の設定モードになります。

正しくお使いいただくために

使用上のご注意

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 暖房器具のそばや直射日光のあたる場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 操作する機器のリモコン受光部に、直射日光や強い照明があたらないようにしてください。リモコン操作ができない場合があります。
- このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。

お手入れのしかた

リモコンの表面は、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので、使わないでください。

主な仕様

動作距離

約10m*（正面距離）

学習可能キー数

約1000（ソニーリモコン信号にて）

学習可能ビット数

300ビット**

学習可能周波数

500kHz以下**

学習可能間隔

1秒以下**

電源

DC 6V、単3形乾電池4個

電池持続時間

約5か月（使用頻度で変わります）
（アルカリ乾電池使用時）

最大外形寸法

約120×175×38mm（幅×高さ×奥行き）
（JEITA***）

質量

約375.5g（電池含む）

付属品

単3形乾電池（4）****
取扱説明書（1）
「メーカー番号一覧表」（1）
保証書（1）
「ソニーご相談窓口のご案内」（1）

* 使用機器のメーカー・機種によっては距離が変わる場合があります。
** 使用機器によっては学習できない場合もあります。
*** JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
**** 付属のマンガン電池はお試し用です。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

故障かな？とお考えになる前に

本機が正しく動作しないときは、まず電池を確認（10 ページ）してから、下記の項目をチェックしてください。それでも正しく動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、ソニーサービス窓口 、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	処置
リモコンでお手持ちの機器が操作できない	• 操作する機器から離れすぎていませんか？10m以内の距離でリモコンを使ってください。 • 操作する機器にリモコンを向けているか、操作する機器のリモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。 • 必要に応じて、まず操作する機器の電源を入れてください。 • 正しい機器選択ボタン／ラベルキーを押しているか確認してください。機器選択ボタン／ラベルキーにメーカー設定すると、登録したメーカー番号で機器が決定します。そのため、機器選択ボタン／ラベルキーの名称と設定した機器の種類が異なる場合があります。その場合は、もう一度メーカー設定（14ページ）をし直してから、モード表示キーまたはラベルキーの機器の名称を変更する（83、111ページ）ことをおすすめします。 • お使いの機器が赤外線方式のリモコン対応かどうか確認してください。操作する機器にリモコンが付属されていない場合は、リモコンでは操作できないことがあります。 • 選択した機器選択ボタンに別の機器の設定をした可能性があります。そのボタンに設定した機器やメーカー番号などを確認してください。
メーカー番号を設定しても操作できない	• 正しいメーカー番号を設定しましたか？同じメーカーでも複数の番号がある場合は、付属の「メーカー番号一覧表」にある他の番号を設定してみてください。 • 同じメーカーでも、機種によっては記憶されているものと異なるリモコン信号を使用している場合があります。メーカー番号を設定しても操作できないボタンがある場合は、学習機能でリモコン信号を記憶させてください（22ページ）。
音量調節ができない	• 映像機器の音量調節が正しく設定されていますか？「オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する」（31ページ）を参照して正しく設定してください。 • TV ボタンやAMP ボタンに違う機器が設定（51ページ）されていませんか？表示と違う機器を設定していると、TV やAMP ボタン以外の操作面で音量+/–ボタンおよび消音ボタンが使えなくなります。
学習がうまくいかない	• 双方向リモコン（一部ソニー製のチューナーやアンプに装備）で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。

症状	処置
学習機能で記憶させた操作ができない	• 正しく学習できなかった可能性があります。「正しく学習させるコツ」（27ページ）を参照して、もう一度学習をやり直してください（22ページ）。
「NG」が5回点滅する	• 正しく学習できませんでした。次の項目を確認して、もう一度学習をやり直してください（22ページ）。 - お使いの機器のリモコンと本機との距離を変えてみてください。 -「LEARN」の点滅を確認してから学習させたい信号を入力してください。 -「正しく学習させるコツ」（27ページ）を参照してください。 • メーカー番号の設定ができませんでした。付属の「メーカー番号一覧表」を参照して、もう一度メーカー番号の設定をやり直してください。（14ページ） • データ転送ができませんでした。「データを転送する」（56ページ）を参照してもう一度データ転送をやり直してください。 • データ受信ができませんでした。「データを受信する」（60ページ）を参照してもう一度データ受信をやり直してください。
「NG」が2回点滅する	• 学習機能（22ページ）、システムコントロール機能（33ページ）、またはチャンネルマクロ機能（62ページ）を設定するのに選択したボタン／キーが学習機能によってリモコン信号を記憶しています。学習した内容を消去（28ページ）するか、学習していないほかのボタン／キーを選択してから、もう一度設定操作をしてください。 • チャンネルマクロ機能の設定面でラベルキーから学習信号を消去しようとしています。この設定では、DELキーを押しながらチャンネルマクロキー（ラベルキー）を押して消去できるのはチャンネルマクロ機能だけです。学習信号を消去するには28ページをご覧ください。 • チャンネルマクロ機能（62ページ）を設定するのに選択したラベルキーが学習機能によってリモコン信号を記憶しています。学習した内容を消去（28ページ）するか、学習していないほかのラベルキーを選択してから、もう一度設定操作をしてください。 • もう1台のRM-AV3000Uの機器選択ボタン／ラベルキーからデータを本機の機器選択ボタン／ラベルキーに受信する場合（60ページ）、選択した本機の機器選択ボタン／ラベルキーに設定されている機器操作面に学習信号が記憶されているボタン／キーがあります。本機の受信設定面でCLEARキーとRETURNキーを使って学習信号を消去するか（60ページの「ご注意」参照）、「学習したボタン／キーの機能を変更／消去する」（28ページ）を参照して学習信号を消去してください。

次のページへつづく

症状	処置
「NG」が2回点滅する	• 実行待機状態のタイマープログラムを変更しようとしています。タイマープログラムは、実行待機状態に設定されていると変更できません。変更するためには待機状態を解除してから（72ページ）変更してください。 • ソニー以外の機器のメーカー番号が設定されている機器選択ボタン／ラベルキーに電源オン機能（46ページ）を設定しようとしています。電源オン機能が設定できるのは、ソニー製品が設定された機器選択ボタン／ラベルキーだけです。 • 機器選択ボタン／ラベルキーに学習機能（22ページ）でリモコン信号を記憶させた後で同じ機器選択ボタン／ラベルキーにメーカー設定をしようとしています。学習操作を行った後はメーカー設定をすることができません。学習信号を消去（28ページ）してからメーカー設定をするか、他の使用していない機器選択ボタン／ラベルキーを選んでください。
学習操作をしているときに「NG」が表示される	• メモリー容量がいっぱいになっていませんか？ 使用頻度が低いボタン／ラベルキーに学習させた信号を消去（28ページ）してから、学習を行ってください。
機器選択ボタン／ラベルキーの操作設定を他の機器選択ボタン／ラベルキーにコピーしようとすると「NG」が点滅する	• 選択した機器選択ボタン／ラベルキーに設定されている機器操作面に学習信号が記憶されているか、チャンネルマクロ機能が設定されているボタン／キーがあります。コピー先に他の機器選択ボタン／ラベルキーを選ぶか、学習信号またはチャンネルマクロ機能を消去してからお使いください（28、64ページ）。
システムコントロール機能が正しく働かない	• 操作プログラムを登録するときは、正しい順番で操作ステップを入力してください（34ページ）。 • 本機の向きを変えてみてください。それでもシステムコントロール機能が正しく働かない場合は、操作するそれぞれの機器をできるだけ近づけてください。 • 操作する機器がリモコンの信号を正しく受信する状態であることを確認してください（40ページ）。 • システムコントロール機能の操作ステップとして登録したボタン／キーのメーカー設定を変えたり、または登録したボタン／キーに学習信号を記憶させたりしていませんか？ その場合、システムコントロール機能を実行すると、新しく記憶されたリモコン信号が出力されます。 • 操作ステップの間隔が短かすぎます。「操作ステップの間隔を変更する」（43ページ）を参照して、操作ステップの間隔を長くするか、ボタン／キーの入力の順番を変えて操作プログラムの調整をしてください。（システムコントロール機能のプログラムの設定をしているときにTIMERボタンを押して、間隔を作ることができます。）

症状	処置
データ転送の後、本機が正しく動作しない	•「COMPO」を選択して転送／受信を行う場合、機器選択ボタン／キーに設定されたシステムコントロール機能は転送／受信をすることができません。転送後に受信側のRM-AV3000Uの設定を最初からやり直すか、「ALL」を選択してデータ転送／受信の操作を最初からやり直してください（56ページ）。
本機のタイマーを使って操作しようとした機器がうまく動作しない	• タイマーで操作しようとする機器が本機からの信号を正しく受信していません。タイマーを使う場合は、次のことを確認してください。 - タイマープログラムを設定したら、TESTキーを押してタイマーマクロが正しく機能するか確認してください（71ページ）。 - 本機の設置場所を確認してください。 • タイマーで操作しようとする機器が適切な状態ではありません。（例えば、タイマーが機能したときには機器の電源が切れていると想定して、電源オン設定をしたとします。しかし、機器の電源が入っている場合、本機からの信号を受信すると、機器の電源は切れてしまいます。）
すでに実行されたタイマープログラムが次の週にも実行される	• 本機のタイマー機能は、いったん設定すると毎週タイマープログラムを繰り返す週間タイマーです。タイマープログラムを一度だけ実行したい場合は、プログラムが実行された後、タイマー待機状態を解除してください（72ページ）。
入力した文字がもとの表示に戻ってしまう	• 文字を入力した後に、メーカー設定を変更すると、入力した情報は消去され、表示はもとに戻ります。メーカー設定によって、お使いになる機器を決定してから、文字の入力をしてください。
入力した文字が表示されない	• データのないラベルキー（「****」と表示されます。）に文字を入力した場合、入力した文字は通常使用時に表示されません。その場合は、学習機能など（22ページ）を使ってラベルキーにデータを入力してください。ただし、入力した文字は学習機能操作の間のみ表示されます。
画面表示が自動的に消えてしまう	• 本機は工場出荷時には、10分間操作しないと自動的に液晶画面の表示がすべて消えるように設定されています（画面のオートオフ機能）。この設定は変更することができます。画面のオートオフ時間は、1～30分の間で1分間隔で変更することができます（77ページ）。
信号出力のときと、画面のバックライトを点灯させているときに、が表示される	• 電池が消耗し始めています。できるだけ早く新しい電池と交換してください（10ページ）。
自動的に時計合わせの設定モードになってしまう	• 電池が交換されたか、消耗しています。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換してください（10ページ）。電池交換をしても、設定した内容は記憶されています。電池交換以前の設定のままお使いになる場合は、時計合わせのみ行ってください（11ページ）。
画面に「LOCK」が表示され、ボタンを押しても操作画面が表示されない	• ホールド機能が働いています。ホールド機能を解除してください（75ページ）。

記憶されている機能一覧表

ご注意

メーカーや機種によっては操作できない機能もあります。

ＴＶ（テレビ・BSデジタルチューナー内蔵テレビ含む）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1～12	チャンネルダイレクト選択
時計表示**	地上波放送とBSデジタル放送のチャンネルダイレクトキー表示を切り換える（本機のキー表示を）
BS1～12*	BSデジタル放送のチャンネルダイレクト選局、10キー選局（ダイレクト選局時の対応は21ページ参照）
INPUT	入力切り換え
DISPLAY	現在のテレビチャンネルの表示のオン／オフ
SLEEP	テレビのスリープ設定（スリープ機能付きテレビのみ）
MAIN/SUB	二重音声放送の切り換え
INFO*	視聴中の番組詳細情報の表示
BS*	BSデジタル放送への切り換え
10KEY*	10キー選局を行う
EPG*	番組ガイドのオン／オフ
d*	映像と同時に送られてくるデータを同時表示する
TV	テレビ画面への切り換え
WIDE	ワイド画面の切り換え
PIP ON/OFF	2画面表示または子画面表示のオン／オフ
PIP CH+	子画面のチャンネル＋
PIP CH–	子画面のチャンネルー
PIP SWAP	画面の入れ替え
チジョウ*	地上波放送を受信する
ラジオ*	BSデジタルラジオを受信する
データ*	BSデジタルデータを受信する
エイゾウ*	BSマルチビュー放送を見る
BLUE*	画面に表示される青色で示される動作の選択
RED*	画面に表示される赤色で示される動作の選択
GREEN*	画面に表示される緑色で示される動作の選択
YELLOW*	画面に表示される黄色で示される動作の選択
ホウソウキリカエ*	受信する放送を切り換える
MYプラス*	ユーザーが登録したチャンネルの一覧、ジャンル検索モードへ入る画面のオン／オフ
i.LINK►*	i.LINK接続機器の再生操作のためのコントロールパネルのオン／オフ
i.LINK●*	i.LINK接続機器の録画操作のためのコントロールパネルのオン／オフ
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
EXIT	各種の設定モードから抜ける
CHANNEL +/–	次のチャンネルへ：+ 前のチャンネルへ：–
RECALL	一つ前の画面に戻る（ジャンプ、リコール、CHリターン機能付きテレビのみ）
VOLUME+/–	音量　大：+ 音量　小：–
MUTING	消音

* BSデジタル放送受信時に有効となるキー
** 本機の操作面を切り換えるためのキー

TV（テレビ・アナログBSチューナー内蔵テレビ含む）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1～12	チャンネルダイレクト選択
時計表示*	地上波放送とアナログBS放送のチャンネルダイレクトキー表示を切り換える（本機のキー表示を）
BS1、3、5、7、9	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局1、3、5、7、9
BS10	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局13
BS11	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局11
BS12	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局15
INPUT	入力切換え
DISPLAY	現在のテレビチャンネルの表示のオン／オフ
SLEEP	テレビのスリープ設定（スリープ機能付きテレビのみ）
MAIN/SUB	二重音声放送の切り換え
BS	アナログBS放送への切り換え
TV	テレビ画面への切り換え
WIDE	ワイド画面の切り換え
PIP　ON/OFF	子画面表示のオン／オフ
PIP CH+	子画面のチャンネル+
PIP CH–	子画面のチャンネル–
PIP SWAP	画面の入れ換え
PIP OFF	子画面表示のオフ
BS5	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局5
BS7	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局7
BS9	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局9
BS11	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局11
WOWOW.P	WOWOWデコーダー電源のオン／オフ
WOWOW M/S	WOWOWデコーダーの二重音声切り換え
WOWOW.S	WOWOWデコーダーの音声選択
BS M/S	アナログBS放送の二重音声切り換え
BS SOUND	アナログBS放送の独立音声切り換え
–BSCH	アナログBS放送チャンネル–
BSCH+	アナログBS放送チャンネル+
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
EXIT	各種の設定モードから抜ける
CHANNEL +/–	次のチャンネルへ：+
	前のチャンネルへ：–
RECALL	一つ前の画面に戻る（ジャンプ、リコール、CHリターン機能付きテレビのみ）
VOLUME+/–	音量　大：+
	音量　小：–
MUTING	消音

*　本機の操作面を切り換えるためのキー

次のページへつづく

記憶されている機能一覧表（つづき）

TV（テレビ・ビデオ一体型テレビ）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1～12	チャンネルダイレクト選択
時計表示**	地上波放送とアナログBS放送のチャンネルダイレクトキー表示を切り換える（本機のキー表示を）
BS1、3、5、7、9	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局1、3、5、7、9
BS10	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局13
BS11	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局11
BS12	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局15
INPUT	入力切り換え
DISPLAY	現在のテレビチャンネルの表示のオン／オフ
SLEEP	テレビのスリープ設定（スリープ機能付きテレビのみ）
MAIN/SUB	二重音声放送の切り換え
BS	アナログBS放送へ切り換え
TV	テレビ画面への切り換え
◀◀	巻戻し
▶	再生
▶▶	早送り
REC*	録画（RECを押しながら▶を押す）
■	停止
❚❚	一時停止
BS5	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局5
BS7	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局7
BS9	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局9
BS11	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局11
WOWOW.P	WOWOWデコーダー電源のオン／オフ
WOWOW M/S	WOWOWデコーダーの二重音声切り換え
WOWOW.S	WOWOWデコーダーの音声選択
BS M/S	アナログBS放送の二重音声切り換え
BS SOUND	アナログBS放送の独立音声切り換え
–BSCH	アナログBS放送チャンネル–
BSCH+	アナログBS放送チャンネル+
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
EXIT	各種の設定モードから抜ける
CHANNEL	次のチャンネルへ：+
+/–	前のチャンネルへ：–
RECALL	一つ前の画面に戻る（ジャンプ、リコール、CHリターン機能付きテレビのみ）
VOLUME+/–	音量大：+
	音量小：–
MUTING	消音

* 本機では、誤って録画が始まらないように、RECキー単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

** 本機の操作面を切り換えるためのキー

TUNER（スカイパーフェクTV! チューナー）

本機に記憶されているデータは、ソニーのデータに合わせたキー表示を行っているため、他社の機器が設定されたときは、本機の表示とキー表示が異なります。下記の表を参考にしてお使いください。（ラベルキーは、設定後、表示を変えてお使いください。）

メーカー / ボタン／キー表示	ソニー、ビクター（JVC）、アイワ	パナソニック ナショナル（松下）	東芝DXアンテナ マスプロ八木アンテナ
POWER	電源	電源	電源
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	0
ENTER	選局	戻る	＃
DISPLAY	画面表示	画面表示	リザーブ（記憶）
MAIN/SUB	音声切換	信号切換	音声切換
INFO	番組説明	放送内容	表示
FAVORITE	好み一覧	＃	お好みCHチャンネル
EPG	番組ガイド	番組表	番組ガイド
SAT	衛星切換	衛星切換	ネットワーク
スチル	スチル	ページ↑	リザーブ（呼出）
ヨヤクイチラン	予約一覧		訂正
ラジオ	ラジオ	ページ↓	テレビ/ラジオ
ジャンル	日付／ジャンル	サブメニュー	ジャンル
マルチプロモ	マルチプロモ		
プロモ	プロモ		
EZパネル	EZパネル		
i.LINK	i.Link	裏番組	機能
MENU	メニュー	メニュー	メニュー
⇧	↑	↑	↑
⇩	↓	↓	↓
⇨	→	→	→
⇦	←	←	←
OK	決定	決定	決定
EXIT	EXIT		
CHANNEL+/–	チャンネル+/–	チャンネル+/–	チャンネル+/–
RECALL	ジャンプ	前選局	戻る（取り消し）

次のページへつづく

記憶されている機能一覧表（つづき）

メーカー／ボタン／キー表示	日立	アイワ	シャープ
POWER	電源	電源	電源
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	10/0	0
ENTER	戻る	選局	戻る
DISPLAY	画面表示	画面表示	表示切り
MAIN/SUB	音声切換	音声切換	音声切換
INFO	詳細	番組説明	情報表示（番組情報）
FAVORITE	マイCH	好み一覧 好みCH↓	マイチャンネル マイプログラム
EPG	番組ガイド	番組ガイド	番組ガイド
SAT	衛星切換	JSkyB/PerfecTV 衛星A/B	衛星切換
スチル	ページ↑	スチル　好み設定	ページ↑　ページ→
ヨヤクイチラン	予約一覧	予約一覧	予約確認
ラジオ	ページ↓	ラジオ　取り消し	ページ↓　ページ←
ジャンル	機能	日付けジャンル 好み CH↑	ジャンル
マルチプロモ			
プロモ			
EZパネル			
i.LINK	予約登録	戻る	お好みA/B/C/D/E/F/G/H
MENU	メニュー	メニュー	メニュー
⇧	↑	↑	↑
⇩	↓	↓	↓
⇨	→	→	→
⇦	←	←	←
OK	決定	決定	決定／スチル
EXIT			
CHANNEL+/–	チャンネル+/–	チャンネル+/–	選局↑/↓　ページ↑/↓
RECALL	CHリターン	前CH　ラスト5CH	チャンネルバック

ボタン／キー表示 \ メーカー	マスプロ	NEC	ユニデン
POWER	電源	電源	電源
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0/10	0
ENTER	#		終了
DISPLAY	表示	ロゴ表示	
MAIN/SUB	音声切換		
INFO	説明		
FAVORITE	お好み↓		
EPG	番組表		
SAT	衛星切換		
スチル			
ヨヤクイチラン	予約確認		予約確認
ラジオ			
ジャンル	お好み↑		
マルチプロモ			
プロモ			
EZパネル			
i.LINK	戻る		
MENU	メニュー	メニュー	メニュー
⇧	↑	↑	↑
⇩	↓	↓	↓
⇨	→	→	→
⇦	←	←	←
OK	決定	決定／スチル	決定／スチル
EXIT			
CHANNEL+/–	チャンネル+/–	チャンネル+/–	チャンネル+
RECALL			

その他

次のページへつづく

TUNER（ケーブルテレビホームターミナル）

メーカー ボタン／キー表示	ソニー	他社のホームターミナル
POWER	電源	電源
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
0	0	0
ヨヤクイチラン	予約一覧	
ENTER	選局	
DISPLAY	画面表示	CHコール（表示、表示コール）、時計
SAT	JSkyB/PerfecTV	
スチル	スチル	
FAVORITE	好み一覧	お好みCH（メモリー、お好み）
INFO	番組説明	
EPG	番組ガイド	
MAIN/SUB	二重音声	音多切換（主/副）
ジャンル	日付／ジャンル	
ラジオ	ラジオ	呼出
MENU	メニュー	メニュー
⇧	↑	↑
⇩	↓	↓
⇨	→	→
⇦	←	←
OK	決定	決定
i.LINK	i.LINK	入力切換（ホームターミナル／ビデオ、ビデオ）
CHANNEL+/–	チャンネル+/–	チャンネル（選局）↑/↓
RECALL	ジャンプ	リターン（リピート、チャンネルリターン、CHリコール）

TUNER（BSデジタルチューナー）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1〜12	BSデジタル放送のチャンネルダイレクト選局、10キー選局
DISPLAY	番組タイトル／チャンネル表示のオン／オフ
MAIN/SUB	二重音声放送の切り換え
INFO	視聴中の番組詳細情報の表示
BS	BSデジタル放送への切り換え
TITLE（BS字幕）	字幕放送の入／切、字幕言語切り換え
10KEY	10キー選局を行う
EPG	番組表のオン／オフ
d	映像と同時に送られてくるデータを同時表示する
メディア*	ラジオ／データ放送切り換え
エイセイ*	受信する放送の衛星切り換え
i.LINK►*	i.LINK接続機器の再生操作のためのコントロールパネルのオン／オフ
i.LINK●*	i.LINK接続機器の録画操作のためのコントロールパネルのオン／オフ
BLUE	画面に表示される青色で示される動作の選択
RED	画面に表示される赤色で示される動作の選択
GREEN	画面に表示される緑色で示される動作の選択
YELLOW	画面に表示される黄色で示される動作の選択
テレビ*	BSテレビ放送を選択
ラジオ*	ラジオ放送を選択
データ*	データ放送を選択
エイゾウ	BSマルチビュー放送を見る
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
CHANNEL＋/−	次のチャンネルへ：＋
	前のチャンネルへ：−
RECALL	一つ前の画面に戻る

* 機器によっては対応していない機能

次のページへつづく

TUNER（アナログBS/CSチューナー、MUSEデコーダー）

メーカー ボタン/キー表示	ソニー
POWER	電源
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	10/0
ヨヤクイチラン	11
ENTER	12/ENTER
DISPLAY	画面表示
SAT*	BS/CS切換
スチル*	独立音声切換
MAIN/SUB	音声切換
ラジオ	WOWOW選択
CHANNEL+/–	チャンネル+/–

* BS/CSチューナーのみ

DAT（デジタルオーディオテープデッキ）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1–9、0	曲番号の選択（10を選択するには0を押す。）
DISPLAY	表示モード切り換え、または表示オン／オフ
◀◀	巻戻し
▶	再生
▶▶	早送り
REC*	録音（RECを押しながら▶を押す。最初に▶を離してからRECを離す。）
■	停止
❙❙	一時停止
⏏	開閉
▶▶❙ (CHANNEL+)	次の曲へ
❙◀◀ (CHANNEL–)	前の曲へ
HIGH REV	高速レビュー
HIGH CUE	高速キュー
FADER	フェードイン／フェードアウトの切り換え
REC MUTE	無音録音

* 本機では、誤って録音が始まらないように、REC キー単独では操作できないようになっています。この録音操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

VTR（ビデオデッキ）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1～12	チャンネル選択
INPUT	入力ライン切換
DISPLAY	データスクリーン表示
BS	BS操作
ANT SW	アンテナ出力切り換え
⏏	カセットの取り出し
◀◀	巻戻し
▶	再生
▶▶	早送り
REC*	録画（RECを押しながら▶を押す）
■	停止
❚❚	一時停止
COUNTER	カウンター表示部分の表示切り換え
CMカット	再生中のCM部分を飛ばし見する
←SEARCH	ロックドピクチャーサーチの巻き戻し
SEARCH→	ロックドピクチャーサーチの早送り
Q.TIMER	30分単位で録画時間を選択、録画開始する
SP/LP	録画時間の切り換え
H.S.REW	高速巻戻し
PLAY×2	2倍速再生
VHS	VHSデッキの選択
8mm	8mmデッキの選択
DV	DVデッキの選択
TV TUNER	入力をTVに切り換える
MENU	メニュー表示

ボタン／キー表示	機能
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
CHANNEL +/–	次のチャンネルへ：+ 前のチャンネルへ：–

* 本機では、誤って録画が始まらないように、RECキー単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

次のページへつづく

DVD（DVDプレーヤー、ポータブルDVDプレーヤー）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1-9,0	数字キー（画面上の項目設定）
ENTER	選択項目の決定
AUDIO	音声切り換え
DISPLAY	現在の再生状態を画面に表示
ANGLE	角度の切換
CLEAR	取り消し
RETURN	一つ前の選択画面に戻る
TITLE	タイトルメニュー表示
SUB TITLE	サブタイトルの切り換え
⏏	トレイの開閉
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
❚❚	一時停止
TIME	時間表示切り換え
SET UP	設定メニューの呼び出し
REV SLOW	逆方向スロー再生
FWD SLOW	正方向スロー再生
REPEAT	繰り返しモードに入る
マルチナビ	9画面表示のオン／オフ
PLAYMODE	再生モード切り換え
DISC	再生中のディスク交換
SEARCH+	正方向のサーチ
SEARCH–	逆方向のサーチ
DNR	デジタルノイズリダクションレベル切り換え
VES	Virtual Enhanced Surround：バーチャルサラウンドモードの切り換え
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
▶▶❙ (CHANNEL+)	次の場面、曲へ
❙◀◀ (CHANNEL–)	前の場面、曲へ

DVD（DVDレコーダー／プレーヤー）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1-9,10/0	数字キー（画面上の項目設定）
ENTER	選択項目の決定
AUDIO	音声切換
DISPLAY	現在の再生状態を画面に表示
ANGLE	角度の切換
CLEAR	取り消し
RETURN	一つ前の選択画面に戻る
TITLE	タイトルメニュー表示
SUB TITLE	サブタイトルの切換
⏏	トレイの開閉
◀◀	早戻し
►	再生
▶▶	早送り
REC*	録画（RECを押しながら►を押す）
■	停止
❚❚	一時停止
PREVIOUS	前のチャプター／トラックを指定する
NEXT	次のチャプター／トラックを指定する
RECMODE	録画時間モードの切換
REPEAT	繰り返しモードに入る
マルチナビ	9画面表示のオン／オフ
PLAYMODE	再生モード切り換え
DISC	再生中のディスク交換
SEARCH→	正方向のサーチ
←SEARCH	逆方向のサーチ
TIME	時間表示切り換え
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
▶▶❙ (CHANNEL+)	次の場面、曲へ
❙◀◀ (CHANNEL–)	前の場面、曲へ

* 本機では、誤って録画が始まらないように、RECキー単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

次のページへつづく

CD（CDプレーヤー）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1–9、0	曲番号の選択（10を選択するには0を押す。） 10より大きい曲番号を選択するには下記参照
+10	10および10より大きい曲番号の選択
ENTER	設定の決定
D.SKIP	次のディスクを選択
DISPLAY	CDプレーヤーの表示オン／オフ
CLEAR	設定消去
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
❚❚	一時停止
⏏	開閉
▶▶❙ (CHANNEL+)	次の曲へ
❙◀◀ (CHANNEL–)	前の曲へ
CONTINUE	連続再生モード
SHUFFLE	ランダム（順不同）再生モード
PROGRAM	プログラム再生モード
REPEAT	リピート（繰り返し）再生モード
DISC	数字キーの操作決定
TRACK	数字キーの操作決定
GROUP	数字キーの操作決定
EDIT	自動プログラムおよびタイム・フェーダー設定モードに入る
DSP MODE	CDに付加されたDSPモード内での切り換え
DSP OFF	DSPモードオフ
FADER	フェードイン／フェードアウトの切り換え
PLAYMODE	再生モードを順に切り換える

AMP（アンプ）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1–9、0	直接チューナーを選択するキー
+10	10および10より大きい数字の選択
ENT	設定の決定
VIDEO 1	ビデオ1入力
VIDEO 2	ビデオ2入力
VIDEO 3	ビデオ3入力
AUX	AUX入力
DVD	DVDプレーヤー入力
TV	テレビ入力
CD	CDプレーヤー入力
MD/DAT	MD/DATデッキ入力
TUNER	チューナー入力
TAPE	カセットデッキ入力
PHONO	レコードプレーヤー入力
5.1 INPUT	5.1以上のマルチチャンネル切り換え
MENU	メニュー画面の呼び出し、またはひとつ前のメニューに戻る
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択したメニューの決定
SHIFT	バンド切り換え、またはプリセット選択
BAND	FM/AM切り換え
EXIT	基本メニューに戻る
CHANNEL +/–	より高い周波数をプリセット、または受信：＋
	より低い周波数をプリセット、または受信：－
VOLUME	音量　大：＋
+/–	音量　小：－

ボタン／キー表示	機能
MUTING	アンプの消音 もう一度押して消音解除
S.FIELD	サウンド・フィールドのオン／オフ
GENRE	サウンド・フィールドの種類選択
MODE	サウンド・フィールドのモード選択
T.TONE	テスト・トーンのオン／オフ
CENTER+	センター・スピーカーのレベル調整：＋
CENTER–	センター・スピーカーのレベル調整：－
REAR+	リア・スピーカーのレベル調整：＋
REAR–	リア・スピーカーのレベル調整：－
SUB WOOFER+	サブ・ウーハーのレベル調整：＋
SUB WOOFER–	サブ・ウーハーのレベル調整：－
←D.INPUT	デジタル入力切り換え：←
D.INPUT→	デジタル入力切り換え：→

次のページへつづく

HDVR（ハードディスクビデオレコーダー）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1～12	チャンネル選択（1～12、10キー選択の場合は10/0は0）
ENTER	選択項目の決定
INPUT	ライン入力の切り換え
DISPLAY	画面表示のモード選択
CLEAR	取り消し
MAIN/SUB	二重音声切換
INFO	インフォメーション画面のオン／オフ
TITLE	録画済みタイトル画面のオン／オフ
EPG	番組ガイドのオン／オフ
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
REC*	録画（RECを押しながら▶を押す）
■	停止
❚❚	一時停止
LIST	リスト画面の種類を選択する画面のオン／オフ
MONITOR	録画確認
RECSTOP	録画を停止
RECPAUSE	録画を一時停止
TOOL	ツール画面のオン／オフ
マイチャンネル	マイチャンネルのオン／オフ
ザンリョウ	画面表示のモード選択
RECSPEED	録画モード（記録レート）選択
SETUP	セットアップメニューのオン／オフ
リプレイ	再生中に数秒戻して再生する
MENU	メニュー表示
⇧	カーソルを上へ移動
⇩	カーソルを下へ移動
⇨	カーソルを右へ移動
⇦	カーソルを左へ移動
OK	選択項目の実行
CHANNEL+	次のチャンネルへ：+
CHANNEL–	前のチャンネルへ：–

* 本機では、誤って録画が始まらないように、RECキー単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

MD（MDデッキ）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1–9、0	曲番号の選択（10を選択するには0を押す。） 10より大きい曲番号を選択するには下記参照
+10	10および10より大きい曲番号の選択
ENTER	設定の決定
D.SKIP	次のディスクを選択
DISPLAY	表示モード切り換え、または表示オン／オフ
CLEAR	設定消去
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
REC*	録音（RECを押しながら▶を押す。最初に▶を離してからRECを離す。）
■	停止
❚❚	一時停止
⏏	開閉
▶▶❙ (CHANNEL+)	次の曲へ
❙◀◀ (CHANNEL–)	前の曲へ
CONTINUE	連続再生モード
SHUFFLE	ランダム（順不同）再生モード
PROGRAM	プログラム再生モード
REPEAT	1曲リピート（繰り返し）再生、または全曲リピート再生のオン／オフ
DECK A	ダブルデッキ選択：A
DECK B	ダブルデッキ選択：B
RECMODE	録音モード切り換え
CD-SYNC	CDと同期スタート
FADER	フェードイン／フェードアウト切り換え
SCROLL	表示しきれないディスク・タイトルなどの表示

* 本機では、誤って録音が始まらないように、REC キー単独では操作できないようになっています。この録音操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

その他

LD（レーザーディスクプレーヤー）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1–9、0	トラック番号の選択（10を選択するには0を押す。） 10より大きいトラック番号を選択するには下記参照
+10	10および10より大きいトラック番号の選択
ENTER	設定の決定
DISPLAY	現在の再生状況をスクリーンに表示
CLEAR	スクリーンから選択した文字を消去
ANT/SW	テレビ／ビデオ間での切り換え
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
❚❚	一時停止
▶▶❙ (CHANNEL+)	次の場面、曲へ
❙◀◀ (CHANNEL–)	前の場面、曲へ
⏏	トレイの開閉
SIDE A	選択可能な場合、ディスクのA面選択
SIDE B	選択可能な場合、ディスクのB面選択
x2/x3	2倍速、3倍速に入る
PROGRAM	プログラムモードに入る

TAPE A、TAPE B（カセットデッキ）

ボタン／キー表示	機能
POWER	電源オン／オフ
1–9、0	曲番号の選択
+10	10および10より大きい曲番号の選択
ENTER	設定の決定
◀◀	巻戻し
◀	裏面の再生
▶	再生
▶▶	早送り
REC*	RECを押すと録音待機状態 RECを押しながら▶を押すと録音 RECを押しながら◀を押すと裏面の録音
■	停止
❚❚	一時停止
DISPLAY	表示モード切り換え
A/B	カセットデッキ本体のデッキ選択（ダブルカセットの場合のみ）
REWAMS	巻戻し頭出しサーチ
FFAMS	早送り頭出しサーチ
FADER	フェードアウト後の停止 スタート後のフェードイン
RECMUTE	無音録音
DOLBYNR	ドルビーノイズリダクション
REC LEVEL+	録音レベルを高く：＋
REC LEVEL–	録音レベルを低く：–
C.RESET	テープカウンターのリセット
C.MEMORY	テープカウンターのオン／オフによる位置メモリー操作の切り換え
PROGRAM	押すとプログラムモードに入り、もう一度押すとプログラム再生開始

* 本機では、誤って録音が始まらないように、REC キー単独では操作できないようになっています。この録音操作は、学習機能を使ってひとつのキーに設定することができます（25ページ）。

ショートカットボタン／キー一覧表

機能	押すボタン／キー（2重押し、または3重押し）	参照ページ
設定モードに入る	COMMANDER OFF + MUTING （2分間次の操作をしないと、モードは終了します。）	13、15ページ
学習モードに入る	COMMANDER OFF + 機器選択ボタン COMMANDER OFF + OTHER	23ページ
システムコントロール機能設定モードに入る	COMMANDER OFF + SYSTEM CONTROL（1～3） COMMANDER OFF + MORE	34ページ
タイマープログラム設定モードに入る	COMMANDER OFF + TIMER	65ページ
各機器のラベルキーへの文字入力モードに入る	COMMANDER OFF + MENU + 機器選択ボタン COMMANDER OFF + MENU + OTHER	83、111ページ
各システムコントロールラベルキーへの文字入力モードに入る	COMMANDER OFF + MENU + MORE	83、111ページ
各タイマープログラムラベルキーへの文字入力モードに入る	COMMANDER OFF + MENU + TIMER	83、111ページ
電源オンプログラムの設定	COMMANDER OFF + VOLUME – + 機器選択ボタン COMMANDER OFF + VOLUME – + OTHER （この機能を解除するには、同じ操作を繰り返します。）	46ページ
チャンネルマクロ機能の設定	COMMANDER OFF + CHANNEL+ + 機器選択ボタン COMMANDER OFF + CHANNEL+ + OTHER	62ページ
データの転送／受信	COMMANDER OFF + VOLUME – + CHANNEL–	56ページ
音量調節設定の変更	COMMANDER OFF + VOLUME + + VOLUME –	31ページ
機器設定のコピー	COMMANDER OFF + ⇧	51ページ

次のページへつづく

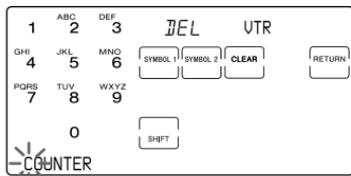
ショートカットボタン／キー一覧表（つづき）

機能	押すボタン／キー （2重押し、または3重押し）	参照ページ
システムコントロール機能の操作ステップ間隔の設定 コンポーネントマクロ実行時間の設定	COMMANDER OFF ＋ EXIT	43、45ページ
画面のコントラスト調整	COMMANDER OFF ＋ OK	82ページ
キータッチ音のオン／オフ	COMMANDER OFF ＋ MUTING ↓ （オン）MUTING ＋ VOLUME + （オフ）MUTING ＋ VOLUME –	81ページ
画面表示のオートオフ時間の設定	COMMANDER OFF ＋ VOLUME – ＋ CHANNEL+	77ページ
バックライトのオートオフ時間の設定	COMMANDER OFF ＋ LIGHT	78ページ
バックライトの明暗の設定	COMMANDER OFF ＋ LIGHT ＋ VOLUME +	78ページ
バックライトを点灯するボタンの設定	COMMANDER OFF ＋ LIGHT ＋ VOLUME –	78ページ
時計合わせのモードに入る	時計表示キー ＋ RECALL	11ページ
リモコンをロックする	時計表示キー ＋ COMMANDER OFF	75ページ
リモコンのロックを解除する	COMMANDER OFF （2秒以上押し続けてください。）	75ページ

モード表示キーやラベルキーへの文字入力のしかた

学習信号の設定（22ページ）、システムコントロール機能の設定（33ページ）、チャンネルマクロ機能の設定（62ページ）およびタイマー設定（65ページ）を行っているときに、モード表示キーやラベルキーを入力可能な状態にすることができます。また、本機をラベル入力設定モード（83ページ）にして、モード表示キーやラベルキーに文字を入力することもできます。次の手順で文字入力を行ってください。

例：学習信号の設定（22ページ）をしているときに、ビデオデッキの操作ラベルキーの表示「COUNTER」を「カウンター」に変更するには

1 モード表示キーまたはラベルキーを入力可能な状態にする（各設定のページ参照）。

2 数字キー、SYMBOL 1キーまたはSYMBOL 2キーを何回か押して、目的の文字（アルファベット、数字、記号、カタカナ）を表示させ、⇨ボタンを押して決定する。

まず、点滅している一番左の位置から文字を入力します。
それぞれのキーに登録されている文字、数字および記号は次の通りです。

アルファベット、数字を入力する場合

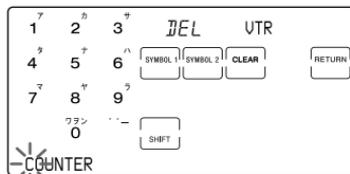
1: 1
2: A → B → C → a → b → c → 2
3: D → E → F → d → e → f → 3
4: G → H → I → g → h → i → 4
5: J → K → L → j → k → l → 5
6: M → N → O → m → n → o → 6
7: P → Q → R → S → p → q → r → s → 7
8: T → U → V → t → u → v → 8
9: W → X → Y → Z → w → x → y → z → 9
0: 0

SYMBOL 1 : !, &, /, ?, →, ←, ↑, ↓, +, −, :, ,, ., ”, ’, ~, *, #, |, スペース
SYMBOL 2 : スペース, [記号], ♪, [記号], [記号], [記号], [記号], (,), <, >, ◀, ▶, ◀II, II▶, ■, [記号], II, ■, $

カタカナ、数字を入力する場合

SHIFTキーを押すとカタカナ入力の画面になります。アルファベット入力の画面に戻るには、もう一度SHIFTキーを押します。

その他

次のページへつづく

モード表示キーやラベルキーへの文字入力のしかた（つづき）

1: ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→1
2: カ→キ→ク→ケ→コ→2
3: サ→シ→ス→セ→ソ→3
4: タ→チ→ツ→テ→ト→ッ→4
5: ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→5
6: ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→6
7: マ→ミ→ム→メ→モ→7
8: ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→8
9: ラ→リ→ル→レ→ロ→9
0: ワ→ヲ→ン→0
゛゜ ー: ゛→゜→－→「→」→・→。→、

SYMBOL1、SYMBOL2キーに登録されている記号は「アルファベット、数字を入力する場合」と同じです。

この例ではカタカナ入力の画面で、次のようにキー／ボタンを押します。

①「2」キーを1回押して⇨ボタンを押す。

カOUNTER

②「1」キーを3回押して⇨ボタンを押す。

カウUNTER

③「0」キーを3回押して⇨ボタンを押す。

カウンNTER

④「4」キーを1回押して⇨ボタンを押す。

カウンタTER

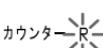
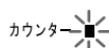
⑤「゛゜ ー」キーを3回押して⇨ボタンを押す。

カウンターER

⑥ SYMBOL 2キーを1回押して⇨ボタンを押す。

カウンター R

⑦ SYMBOL 2キーを1回押す。

カウンター■

⇨ボタンを押すと点滅はひとつ右に移ります。⇦ボタンを押すと点滅はひとつ左に移ります。
点滅している位置の文字入力が可能になります。
⇨ボタンを押さずに、他の数字キー、SYMBOL 1キー、SYMBOL 2キーを押すと、手順2で入力した文字は決定され、点滅はひとつ右に移ります。
一番右の位置が点滅しているときに⇨ボタン、または他の数字キー、SYMBOL 1キー、SYMBOL 2キーを押すと一番右の文字は決定され、点滅は一番左に移ります。

入力を間違えたときは
⇦または⇨ボタンを押して、修正したい文字を点滅させ、入力し直します。

CLEARキーを押すと
表示は入力を始める前の状態に戻ります。

3 RETURNキーを押してラベルキーの表示を決定する。

全画面表示

BS ア 11
ABC カ 22
DEF サ 33
SU MO TU WE TH FR SA
18:88 PM AM
LEARN NG
LOCK POWER ON OFF
GHI タ 44
JKL ナ 55
MNO ハ 66
INPUT SYMBOL1 AUDIO D.SKIP
DISPLAY SYMBOL2 GUIDE VIDEO 1
SLEEP CLEAR NAVI VIDEO 2
MAIN/SUB VIDEO 3
MODE RETURN INFO DVD
PQRS マ 77
TUV ヤ 88
WXYZ ラ 99
BS ANGLE BAND
FAVORITE TITLE ANT SW TV ON
WIDE MD/DAT
PIP ON/OFF CD
PIP CH+ TAPE
10 /0 +10
ワヲン 110
゛゜ー 12 /ENT
10KEY ENTER A SHIFT GUIDE
EPG A/B SUBTITLE 5.1 INPUT
SAT REC C d AUX
PIP SWAP D TUNER
PIP CH- E PHONO

索引

ア行

カ行

サ行

タ行、ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ、ワ行

アルファベット順

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では学習機能付多機能リモートコマンダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合せください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金　午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

•型名：
•ご相談内容：できるだけ詳しく
•お買い上げ年月日

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は………………0570-00-3311
● Fax……………………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、
土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Malaysia

http://www.sony.co.jp/